

(2)特別調査（自由意見）

少子社会への考え

年代	性別	地域	少子社会への考え
30代	女性	県央地域	不妊治療をしている夫婦への公的援助をもっと充実してほしい。
30代	女性	県南地域	女性に仕事か出産(退職勧奨があるから)かの二者択一では少子化は進み、その結果、高齢人口を支えられない。
40代	女性	県北地域	出産、育児、教育に喜びや希望がみえない。
40代	女性	県央地域	子を安心して産める環境が必要だと思います(大学の授業料を安く。高校の給食開始など)。
40代	女性	県南地域	若者のUターン、県外脱出を防ぐ対策をとるべき。
40代	男性	県北地域	県というよりは国を挙げた思い切った施策が必要。例えば第3子以降の子どもに対しては保育園などの費用の免除など。
40代	男性	県央地域	安心して子供を育てていける環境を整えることが重要。
40代	男性	県南地域	地域の伝統が続かなくなるので困る。
50代	女性	県北地域	雇用が県内で安定しなければ若い世代は流出してしまいます。自営業でも人口が減れば仕事がなく地元に戻って来られません。
50代	女性	県北地域	10代の望まない妊娠が多い事の方が問題だ。生活設計のできる大人となった後に出産するならば少子化だとしても、その方がまし。
50代	女性	県北地域	魅力のある仕事、企業を持って若者の定住できる県に。
50代	女性	県央地域	是非、子供が安心して成長できる環境を国全体で考えてほしい。
50代	女性	県央地域	生きづらい社会現象の一つだと考えます。
50代	女性	県央地域	豊かな未来を思うと逆ピラミッドは困る。
50代	男性	県北地域	人口＝国力という概念、適正人口は不明だが成熟した国を。
50代	男性	県央地域	少子化という事の社会にもたらす影響(メリット・デメリット)を県民に具体的に示す必要がある。
50代	男性	県央地域	右肩上がりが増えるのも心配。発展途上国を見ればわかる。ほどほどの人口で落ち着くのでは。
50代	男性	鹿行地域	人口の減少は負の面ばかりではない。
50代	男性	県南地域	いたずらな人口増は問題があるが、国土に適切な人口政策は必要。
50代	男性	県南地域	特に田舎のほう子供が少なくなっていくこと。
50代	男性	県南地域	捉え方(減少幅)により変化すると思う(例:社会的活力は停滞気味に、但し個人にとっては一人一人を大切にするなど良い面も)。
60代	女性	県央地域	家庭や、子育ての意義とか社会の発展への大きな意味を学校教育の中で教える必要を感じる。
60代	女性	県央地域	子育ての金銭的支援よりも保育所の設置、産婦人科の増設が急務だと思う。
60代	女性	県央地域	職住が一体化されていないので残念に思う。
60代	女性	県央地域	何か良い方法はないかと思うが。女性の社会進出の影響などもあるのではないかと考える。
60代	女性	県南地域	教育に対する施策やアピールできる政策が少ないのでは。
60代	女性	県南地域	県南より県北、県西等をどうするか・・・
60代	女性	県南地域	子育てに自信が持てなかつたり不安があることは、部分ではなく社会全体の激変からだと思うから。
60代	男性	県北地域	国全体の振興に影響。
60代	男性	県北地域	子育てに費用がかかり過ぎるのが大きな要因です。社会の宝は社会全体でカバーを。
60代	男性	県北地域	子を産んでも安心して育てることができる社会体制を構築することが大切と思う。
60代	男性	県北地域	納税者がいなくなり福祉の充実を計れない。
60代	男性	県北地域	未婚の男女が多すぎる。原因を究明し結婚する方策を検討すべきでは。民間の結婚相談所は利益を求め、まとめる考えが少ないと思われる。
60代	男性	県央地域	安心して子どもを産める環境がほしい。
60代	男性	県央地域	医療面での対応を。
60代	男性	県央地域	家庭や地域の健全な発展のためにも人口増加が望ましいと思います。
60代	男性	県央地域	国の活力の根幹。
60代	男性	県央地域	結婚できる環境(雇用・収入)等の見直しが必要(年代別、シニアの活用)。
60代	男性	県央地域	県と市がタイアップして中身の濃い少子化対策を打ち出す。

年代	性別	地域	少子社会への考え
60代	男性	県央地域	子育ては個のレベルでは経済的・時間的にも難しくなっている。施策として経済的・時間的なゆとりを個のレベルに講じなければならない。
60代	男性	県央地域	子供の育てられる環境を整備すべきだ。
60代	男性	県央地域	自分達は「よし」としても次の時代が心配である。
60代	男性	県央地域	少子高齢化は国の根幹にかかわる。
60代	男性	県央地域	地域の活力が失われる。
60代	男性	県央地域	街の元気がなくなる。
60代	男性	鹿行地域	安心して子どもを産み育てられる環境整備に力を入れるべき。
60代	男性	鹿行地域	結婚適齢期の人達が晩婚のため、生む子どもの数が少ない。
60代	男性	県南地域	今、対応等を打てばまだ間に合う！
60代	男性	県南地域	結婚支援。
60代	男性	県南地域	少子化対策は行政の無策の結果である。
60代	男性	県南地域	少子高齢化は自然現象でありやむを得ない。
60代	男性	県南地域	昭和22年のベビーブームを思い出してほしい。
60代	男性	県南地域	人口減少は地域の活力減退につながる。
60代	男性	県南地域	年金(制度)が破綻しないか。
60代	男性	県南地域	やむを得ない。
60代	男性	県南地域	若い人の負担が多く先がよめない。
70代以上	女性	県央地域	少子化対策はやっていると思うがもっと進めてほしい。
70代以上	女性	県央地域	農家の長男は恋愛結婚以外はほとんど独身。県で力を入れてほしい。
70代以上	女性	県南地域	少子化を思う時、結婚しない、したくても出来ない、晩婚化の解決が先決か。
70代以上	男性	県北地域	今の角界のように外人ばかりで日本が乗っ取られるのではと不安だ。
70代以上	男性	県北地域	今は高齢者過多、出生率低下で年齢分布が異常。年齢バランスの良好な状態での人口減少は良いと思う。
70代以上	男性	県北地域	社会が構造的に成立しなくなる。
70代以上	男性	県北地域	出産育児の環境を整備する。
70代以上	男性	県北地域	少子社会は今後良くなると思う。子ども手当が出るので子どもが多くなる。
70代以上	男性	県北地域	都市との交流を密にして農山村に居住できる環境ができるよう、行政の力点に期待する。
70代以上	男性	県央地域	40年前にアメリカに出張し、白人の減少が問題視されていたが変化はない。
70代以上	男性	県央地域	依然として減少傾向にある。
70代以上	男性	県央地域	時代の流れ。よく見て人口構成の変化に対応。
70代以上	男性	県央地域	人口増加を問題とした時代に生まれたからやむを得ない。
70代以上	男性	県南地域	茨城は安心して産み育てられる県にしたい。
70代以上	男性	県南地域	結婚が幸せだと思えるように大人が努力する事が大切。
70代以上	男性	県南地域	少子化対策は急務である。
70代以上	男性	県南地域	生産人口の減少で活力が失われない方法を持つ。
70代以上	男性	県南地域	早急に子供が産める条件整備が必要だと思う(結婚感の変更, 教育, 産める条件の醸成)。

高齢社会への考え

年代	性別	地域	高齢社会への考え
30代	女性	県央地域	高齢者が1人になっても安心していられる社会が増えるということは「生きた知恵」が増えると思っている。
30代	女性	県南地域	老々介護は思っているより厳しい現状。少子化が進めば独居老人も増加するだけ。
30代	男性	県央地域	負担が我々の世代にかかり過ぎて不安。不公平。
40代	女性	県北地域	介護が平等でなくてはならないと思う。
40代	女性	県北地域	高齢者は元気がなくなると邪魔にされ、色々持っているし優遇。
40代	女性	県北地域	世界の中の日本の経済力の弱さに不安。
40代	女性	県央地域	一家族に子どもが2人以上いることが望ましいです(子ども手当を18歳まで)。
40代	女性	鹿行地域	元気な高齢者に生きがい、働きがいを持たせる。病気の予防に努める。
40代	女性	県西地域	老々介護の行き詰まりの解消。
40代	男性	県北地域	生涯学者を推進し、社会の中で生き甲斐を感じられるような居場所(活躍できる)づくりを行なうべき。
40代	男性	県央地域	地域の理解を高めて手を貸してあげるようにしてほしい。
40代	男性	鹿行地域	高齢者福祉などには予算の70%以上を使い、少子社会には4%。病気を未然に防ぐように高齢社会であっても医療費がかからないよう努力。
40代	男性	県南地域	ユニバーサルデザインの遅れ。公共インフラの未整備。
40代	男性	県西地域	元気な高齢者であれば、長寿社会も良いのでは。
50代	女性	県北地域	少子社会と同じで若い世代の雇用がなければ当然高齢化は進むと思います。
50代	女性	県北地域	高齢者にできる事で社会に参画してもらう事が大事だと思う。
50代	女性	県北地域	高度医療や延命療法が過剰になると福祉医療財政は破綻する。
50代	女性	県央地域	医学ばかり進歩して平均寿命が延びても、寝たきり老人ばかり増えて困る。皆が健康で長生きできるようにする事が大切だ。
50代	女性	県央地域	享けた生命を充分に生きていく社会にしたい。
50代	女性	鹿行地域	介護施設の充実、年金だけで入れる施設があると良いと思います。お金がかかり、施設に入れる事が出来なく、諸問題が起きている。
50代	女性	鹿行地域	高齢者の生活体系を大事にしなければならないと思う。
50代	女性	県西地域	今の社会を創りあげた功労者を粗末にしてはいけない。
50代	男性	県北地域	長寿は尊い事だが、どこまで最新医療と薬づけで長生きするのか…人口ピラミッドのバランスが不安。
50代	男性	鹿行地域	金銭的な負担増の視点のみでは限界がある。コミュニティー再生の中で手だてはあるはず。
50代	男性	県南地域	元気な高齢者をつくっていくことが大切。
50代	男性	県南地域	高齢者のQOLは大切であり、アメニティーを確保する必要がある。
50代	男性	県南地域	社会保障費の水準をどのように設計するかにより変化する。また60歳代の人材をどう活用していくか仕組みづくりによっては変化する。
50代	男性	県西地域	少子化と同じように高齢化という事の意味を県民に示してみる事。
50代	男性	県西地域	それなりの寿命が誰にもあります。
60代	女性	県央地域	老老介護、あるいは孫介護となったときに意識化を図るにはどうすべきか。
60代	女性	県央地域	1人暮らしの老人が急増すると思われるので自治体で対策を考える必要がある。
60代	女性	県央地域	戦争を経験した人達です。時代の環境の理解と今の平和の存在価値の理解に、もっと配慮があってほしい。高齢者を大切にすることを育てるべきだと思う。
60代	女性	県央地域	労働人口の減少に不安。社会福祉なども含む。
60代	女性	県南地域	1人暮らしになった時、どの位のサポートができるのか。
60代	女性	県南地域	県南地方では東京圏あたりで仕事をした人達がリタイアしている。この人達を上手に納税する側に回ってもらえる施策を。
60代	女性	県南地域	生活の不安は経済的なことが大。安心して医療にかかれることは疾病予防につながる。地域の育成大。
60代	女性	県西地域	次世代の方々が背負いきれるのか。
60代	男性	県北地域	最大の高齢化対策は子どもを増やす事です。高齢者対策には真心が大切。
60代	男性	県北地域	老後は子どもの世話ではなく老健施設などで最後を迎えたいと考えているが施設が不十分である。
60代	男性	県北地域	医療制度等で高齢者に厳しくなっていることに疑問を感じる。
60代	男性	県北地域	高齢者の面倒を見る世代の人間がいなくなる。

年代	性別	地域	高齢社会への考え
60代	男性	県央地域	高齢者が1人になっても安心して行ける社会を。
60代	男性	県央地域	高齢者の活用策が大事(シルバー人材)。
60代	男性	県央地域	税金の使用が増大し、税収に合わなくなるような気がする。
60代	男性	県央地域	若者の活躍に期待する一方で、高齢者が増大するという現実社会である。現実をよく見定めて、若者だけに絞った対策だけでなく、若者、高齢者が共有できる政策、施策を講じていくことが今後求められると思う。
60代	男性	県央地域	社会全般に活性化がなくなるのでは。
60代	男性	鹿行地域	医療体制が不足。
60代	男性	鹿行地域	お金はかかっても福祉施設の充実を県や市に計っていただきたい。
60代	男性	県南地域	加齢と共に時代は流れていく。
60代	男性	県南地域	健康年令を地域で上げれば多少とも安心感が出る。
60代	男性	県南地域	元気な高齢者の活用。
60代	男性	県南地域	高齢者対応の医療・介護システムが確立していない。
60代	男性	県南地域	独り住まい、夫婦二人きりの高齢者等に対し、国や地域をあげての擁護がもっと必要だと思う。
60代	男性	県南地域	医療費の負担が多くなり若い人がかわいそう。
60代	男性	県南地域	高齢者への配慮も大切であるが将来を担う子ども達への学力向上も十分考える。
60代	男性	県南地域	特別養護老人ホームなど、安心して住める施策を望みます。
60代	男性	県南地域	高齢者の活用が大事。
60代	男性	県西地域	支えるものがなくなっていく気がする。
60代	男性	県西地域	子どもと同居できない家庭も増えています(子どもの職業との関係で)。行政、地域の組織を作り、助け合いの輪を。
60代	男性	県西地域	介護や医療の自治体負担が大きくなり、必要な事ができないのではないかと。
60代	男性	県西地域	セイフティーネットの確立が重要である。
60代	男性	県西地域	医療費、介護の適正化が必要(基準化の設定、県民全員がわかるように)。
60代	男性	県西地域	高齢者は孤立しがち。個々のニーズを反映した保障の仕組みを実現してほしい。
60代	男性	県西地域	今、健康なので前向きに生きたい。世に家族に役立って生きたい。
70代以上	女性	県北地域	高齢者は介護保険なども改良され、心配はあまりしていない。
70代以上	女性	県央地域	個人の施設が水戸市には特に多くあるが、金額が高い。安心して入居できる県の施設を希望する。
70代以上	女性	鹿行地域	介護の問題は深刻。先の見えないトンネルだから。
70代以上	女性	県南地域	高齢者の居場所確保。地域コミュニティ社会の充実化。
70代以上	女性	県西地域	高齢者の保険(医療費)が年85万もかかるとか、高齢者は医療費が高いと言っているが、自分でかかった医療費はもう少し支払うべきだと思う。
70代以上	男性	県北地域	高齢者の社会的有効活用のシステムが確立していないから。
70代以上	男性	県北地域	若者が近くに少なくなり心配。
70代以上	男性	県北地域	しばらくは出生率増加の方策を考えるべきだと思う。
70代以上	男性	県北地域	介護施設の充実が急がれる。
70代以上	男性	県北地域	高齢者の働く場所や機会づくりで大いに生き甲斐を發揮できる指導者やリーダーの育成、コーディネーターの養成や研修の開設を。
70代以上	男性	県北地域	高齢者を大切に。高齢者は若い頃一生懸命働いてきている。
70代以上	男性	県南地域	高齢者を大切にする事は社会の健全化に繋がる。
70代以上	男性	県南地域	社会を支える世代の減少(少子化)。
70代以上	男性	県南地域	若年層が支えきれなくなる。
70代以上	男性	県南地域	元気な高齢者を活用する場を作る。
70代以上	男性	県南地域	高齢者自身の自己管理を相互に心得る事が大切。
70代以上	男性	県西地域	1人の高齢者を現役世代何人で支えるか。平成17年には3.3人、2055年には1.3人とされている。
70代以上	男性	県西地域	自分の老後を考えるのは個人の責任です。ただし、いたわりは大切です。
70代以上	男性	県西地域	高齢者の活用が重要で、役割分担が必要。
70代以上	男性	県西地域	延命的な配慮と高齢者の主張が不安な面もあるが、高齢化というスパンがどの位かによる。

国際化社会への考え

年代	性別	地域	国際化社会への考え
30代	女性	県央地域	文化の違いなどお互いに理解する努力が必要と考える。
30代	女性	県南地域	国際交流を図ったりするのはとても良いのだが、良いことだけが入ってくる訳でない。なるべく犯罪につながることを未然に防ぎ、国際的な視野を広めたい。
30代	男性	県央地域	犯罪が増えるだけで不要。制限すべき。
40代	女性	県北地域	生活全般に見て、派遣労働で来た外国人は、ゴミだしなど、勝手に周りの環境を替えてしまう。以前に経験が有るのでしっかりと指導してほしい。
40代	女性	県北地域	他国の文化を知る良い機会になるように努力が必要。
40代	女性	県北地域	どちらとも言えない。
40代	女性	県央地域	犯罪や薬物の密輸が心配(根本的に密輸組織をなくしてほしい)。
40代	男性	県北地域	就業人口が減少する中、やむを得ないと思うが、受皿づくりをしっかりと進めないとトラブルが発生すると思う。しかし一方で、外国人イコール治安が悪いという偏見はなくすべき。
40代	男性	鹿行地域	外国人研修生が農業や商業に参入してくるが、公共の場所においてマナーが悪く看板等も行政側で作ってくれない。
40代	男性	県南地域	モラルが無い。文化の違い。教育をすればOK。
50代	女性	県北地域	心の中ではやはりまだ閉鎖的で、なかなか心を開いておつきあいはできません。
50代	女性	県北地域	行政、市民に受入ることに理解があり、地域で外国人を孤立させない取り組みがあり、外国人の人権を守る制度が整っていて熟知されていれば大丈夫。
50代	女性	県央地域	法的に満たされた外国人であってほしい。
50代	女性	県央地域	犯罪を犯す外国人や、犯さざるを得ない状況にしてしまうことが不安。一般人として生活していける外国人なら国際的になって優秀な子供も増えるかと...
50代	女性	鹿行地域	外国人労働者の資質。
50代	女性	鹿行地域	国際化よりも地域の文化や生活の乱れを不安に思う。
50代	女性	県西地域	共栄できる社会づくりが必要である。
50代	男性	県北地域	国籍、人種を越え対等なパートナーとして関わる事が大切。
50代	男性	鹿行地域	いたずらに不安を募らせるのではなく、いかにコミュニケーションをより以上にはかかっていくかが重要。
50代	男性	県南地域	不安には思わないが、国際化に対応することは必要。
50代	男性	県南地域	地域のつながり面ではマイナス要素。特殊分野の労働力では(訓練次第で)貴重な戦力になりプラス要素にも。
50代	男性	県西地域	不法による外国人の増加では国際化に結びつかない(治安に不安あり)。
50代	男性	県西地域	相互理解が不十分。日本人にも悪い人はいますから。
60代	女性	県央地域	心身共に理解できていない。でも経済発展のため、友好のためには受け入れられる環境は必要かと。
60代	女性	県央地域	外国人に日本国籍を与える条件をきちんと法制化し、今の偽装結婚や国籍の売買を阻止することを考えるべき。
60代	女性	県央地域	しかたがないと思う。お互いに理解し合える努力が必要。
60代	女性	鹿行地域	近くの農家に海外から働きに来ている若者が、近隣に住む女性にいたずらをして問題になった事がある。予防とその対策が大切であると思う。
60代	女性	鹿行地域	どのような国際化を望んでいるかにもよる。労働力ばかりではなく、もっと多くの面での対策を考えるべき。
60代	女性	県南地域	生活習慣の違いによる摩擦。
60代	女性	県南地域	私の住む地域では、あまり多くの外国人を見る事もない。ただし同じ東洋系の方は日本人と区別がつかないかもしれない。どこの国の人も地球人。
60代	女性	県南地域	日本人だけでは人口は増えない。差別のない世の中の結果が外国人の移民と考える。外国人の増加は大賛成。
60代	女性	県西地域	意思の疎通不足が犯罪に繋がりがかねない。
60代	男性	県北地域	犯罪防止が重要。
60代	男性	県北地域	外国人の資質に依り不安感が異なる。
60代	男性	県北地域	一層国際化が進展し、活気のある街が良いのでは。
60代	男性	県北地域	犯罪が増加しないのか。
60代	男性	県央地域	防犯対策。
60代	男性	県央地域	これから益々国際化が進み、外国人との交流が必要。日本人の少子化を助けてもらうためにも国際化が大切です。

年代	性別	地域	国際化社会への考え
60代	男性	県央地域	公共性の高いものには、外国語表記を併記して、日本での暮らしに支障がないようにするべき。緊急性のある県内のパトカーや消防車にも英語表示がない。国際化社会を構築するには、公共性の高いものから順次併記すべき。
60代	男性	鹿行地域	雇用問題から犯罪につながる。
60代	男性	県南地域	日本国で生活している事の自覚がほしい。
60代	男性	県南地域	薬の犯罪、無策の警備体制。
60代	男性	県南地域	犯罪の多発化、社会コスト増(治安、教育、医療費など)、行政サービスの多重化など。
60代	男性	県南地域	どこに何人いるかが不明のため不安。
60代	男性	県南地域	双方の文化を理解する必要がある。
60代	男性	県南地域	世界に比べて少ない。
60代	男性	県南地域	受入体制、防犯体制整備。
60代	男性	県南地域	21世紀は労働人口の減少が進行し、外国の方々の労働力が必要となる。
60代	男性	県南地域	国際的に交流が必要です。日本人だけの社会形成ではもたない。お互いに情報交換すべきです。
60代	男性	県南地域	不法滞在には断固たる対処を望みます。
60代	男性	県西地域	生活習慣や人柄がわからないので心配な面があります。生活に困って「犯罪に」という事がないと良いと思います。
60代	男性	県西地域	治安が守れるか不安。現状でも不安が多い(窃盗など増加してきた)。
60代	男性	県西地域	外国人の生まれた環境や生活習慣で日本に順応できない事もある。
60代	男性	県西地域	もし必要であれば、地元との交流を図る(お祭への参加、芋煮会、バーベキュー大会、朝市等)。
60代	男性	県西地域	治安が心配(経済の悪化の進行が益々ひどい)。
60代	男性	県西地域	外国人はいたしかたないが、もっと少子化対策を充実させるべき。
70代以上	女性	県央地域	農村地帯(米の生産)なので外国人労働者はほとんど見かけない。
70代以上	女性	県北地域	外国人の雇用なども前向きに考え、日本での生活を住みやすい環境にしてあげたい。
70代以上	女性	県南地域	厳しい国籍条項を検討すること。
70代以上	女性	県西地域	国際化で外国人が増えるのは、日本はますます少子高齢社会なので増加するのは別に問題はないと思う。
70代以上	男性	県北地域	グローバル化の現代、ある程度外国人が増えることは当然。
70代以上	男性	県北地域	外国人の増加は犯罪の増加につながるような気がする。それは、活用方法が確立していないからで、運用方法・活用法を研究すれば良いかも。
70代以上	男性	県北地域	私の住む地域などでは少ない方。
70代以上	男性	県北地域	米国のように多民族化していく事は自然である。人種のグローバリゼーションは自然であり、無理に阻止すべきではないと思う。
70代以上	男性	県北地域	山村でも国際交流、国際結婚が数組みられることは良いことで、偏見をなくし地域で温かく見守り育てたいものであるし大いに奨励したいものである。
70代以上	男性	県北地域	外国人があまり多くなると犯罪が多くなると思う。
70代以上	男性	県央地域	ことばも習慣も行動も異なるのが不安。
70代以上	男性	県南地域	日本人としての同化政策が不十分だから。
70代以上	男性	県南地域	入国管理に厳しさが足りない。国際化はおおいに結構である。
70代以上	男性	県南地域	治安の面で心配。
70代以上	男性	県南地域	社会福祉関係はどんどん外国人を入れること。日本は子どもより親が悪いから。
70代以上	男性	県南地域	多少治安の悪化が心配であるが、グローバル化は必要である。外国人の犯罪防止について、これまで以上に取組むべきと思う。
70代以上	男性	県南地域	受け入れる地元の姿勢の問題。
70代以上	男性	県西地域	外人を利用する感覚が必要。

医師不足などへの考え

年代	性別	地域	医師不足などへの考え
30代	女性	県央地域	特に産婦人科医・小児科医不足は少子化につながる。
30代	女性	県南地域	医師の手当を増やす。科によっては働き通しで休養もままならない。リスクの多い症例でもミスすれば訴えられ、特に産科は減る一方…。老人のしょっちゅう病院へ行く人が多いのも、医療の負担を増すだけ。
30代	男性	県央地域	医師不足に加え、質も落ちていると感じる。
40代	女性	県北地域	午後18:00以降は小児は診てもらえない。電話対応で明日と言われる。
40代	女性	県北地域	地域に出産できる施設がない！なんとかしないと！
40代	女性	県北地域	小児科と産婦人科医の対策は早急であると思う。
40代	女性	県央地域	医師や看護師の待遇を良くして、看護師が育児と仕事を両立できる環境をつくること。
40代	女性	鹿行地域	若い医師の招致など(住居、職場環境またはPRなど)県としてバックアップするべきではないか。
40代	女性	県西地域	女性医師が復帰しやすい環境を。
40代	男性	県北地域	県北地域、特に山間部では医師以前に病院が不足している。地域格差を是正できるような施設に期待。
40代	男性	鹿行地域	人口に対して医師を行政が決め指導していただきたい。
40代	男性	県南地域	医師がもっと公益確保の自覚を持てば変わる。
40代	男性	県西地域	産婦人科、小児科病院の不足など。
40代	男性	県西地域	現場の勤務状況見直しが必要。
50代	女性	県北地域	医学部を卒業した方々はどこに消えてしまうのかと思うくらいです。医学部在籍中に奉仕の精神などの教育も必要なのではないでしょうか。
50代	女性	県北地域	予約とか待ち時間を考えると我慢しようと思う時がある。
50代	女性	県北地域	救急の現場はどれも医師不足で過剰労働だと思う。医師の確保と地域医療の担い手にもっと対策がほしい。また、救急車の安易な使用を防ぐため、小児救急についての啓発と地域医療資源を守る意識をもたせたい。
50代	女性	県央地域	産婦人科や外科医になり手がいないなど、深刻だと思う。教育により医学の重要性を教え医師不足をなくす。医療費の見直しも必要。
50代	女性	県央地域	社会現象の中で「生命」はいちばん先に保障されるべきだと思います。
50代	女性	鹿行地域	大きな病院等に医師が集まっているように感じます。
50代	女性	県西地域	医師不足もさることながら技術も向上していただきたい。
50代	男性	県北地域	特に県北地域の医師不足は深刻。なかでも産科小児科が。
50代	男性	鹿行地域	医師の数よりも本来は医師の質が一番重要である。
50代	男性	県南地域	守谷市としては十分であると思う。
50代	男性	県南地域	介護者、被介護者共に負担を軽くすることが必要。不妊治療施策の増加。
50代	男性	県南地域	自分のところからは見えない。
50代	男性	県南地域	今後急速に医師不足となる。
50代	男性	県南地域	地域間格差はあるのですが、労働条件の厳しい業種ほどの分野でも同じ傾向があり、対策以前の問題が大きい。
50代	男性	県西地域	居て欲しい病院に居て欲しい医者がいなくなっています。
50代	男性	県西地域	入院患者が安心して完治できるまで医療を受けられない。
60代	女性	県央地域	県立中央病院。医師不足である。
60代	女性	県央地域	医療格差を防ぐために医者の数を増やす。それでは、今の司法(弁護士)試験を通らない学生と同じことが繰り返されるのではないかと。数よりも質を。
60代	女性	県央地域	大きな病院での先生の移動が多いことに驚いています。小児、婦人科、脳外科系医師、眼科の医院も少ないことを感じます。
60代	女性	鹿行地域	以前住んでいた神奈川県とは比較にならない程、医療対策が遅れている。小美玉飛行場建設に税金投入するより、医師不足解決に力を注いで欲しい。
60代	女性	県南地域	県南地方は恵まれている方だと思うが、待ち時間の長さには不満がある。開業医で時間外診療が可能になれば大病院偏重が少なくなると思う。
60代	女性	県南地域	医療従事者が地域との連携を持つ意味をもっと理解して欲しい。長寿日本に地域医療は大切。専門の医師不足。
60代	女性	県西地域	病院の診療科によっては毎日診療していないため、急に病院に行くことになった時には困ってしまうことがある。やはり医師不足につながるのか？
60代	女性	県西地域	地域医療の充実に繋がらない。
60代	男性	県北地域	地元の小さな病院が不安。近くに優秀な医師がいると良い。
60代	男性	県北地域	緊急時、安心して搬送されたい病院がない。市立病院の充実に期待している。Iターンで田舎暮らしをされた方が、良い病院がなく皆さん後悔されている。

年代	性別	地域	医師不足などへの考え
60代	男性	県北地域	現在の医師不足は単に医療問題に終らず、安心して産み育てる事が出来ないという国の根幹にかかわる問題になってきている事を心配。
60代	男性	県北地域	医師の技量(技術力)が特に地方では対策が急務である。
60代	男性	県北地域	医師不足の状況に不安を感じる。
60代	男性	県北地域	休日夜間に対応してくれる病(医)院を確保してほしい。
60代	男性	県央地域	国内で下から数えて～番目。是非とも医療対策に力をそそいでもらいたい。
60代	男性	県央地域	開業医を免許制にしては。
60代	男性	県央地域	新型インフルなどの新たな課題に対して、主体的・迅速に対応できる企画立案部門強化と併せて、県の行政機関の中にも新たな課題への対応を指示、命令する部門を(医療機関内に)きちんと位置付けて機能を発揮できるようにしてほしい。
60代	男性	県央地域	特に産科医の不足。
60代	男性	鹿行地域	医師の不足。専門医の不足。総合病院が遠い。
60代	男性	鹿行地域	検診などで早期発見すれば個人病院でも十分かと思えます。
60代	男性	県南地域	県南地域は医師・病院に恵まれている。
60代	男性	県南地域	医師確保は重要である。
60代	男性	県南地域	産科医不足が問題。
60代	男性	県南地域	他県に比べて少しかたよっている(地域)。
60代	男性	県南地域	隣接する県との協力が絶対必要である。
60代	男性	県南地域	医師は国税の支援で教育されており医師が積極的に社会貢献しなければならないが、開業医は難しい治療はしない、夜間診療はしないなど無責任である。開業医は公的医療機関の勤務を義務化すべきである。
60代	男性	県南地域	医師不足は否定出来ない。行政の力の発揮する事と考える。
60代	男性	県南地域	特に産科の充実を早急に対処していただきたい(安心して子どもが生まれるように)。
60代	男性	県南地域	県としての施策があまり見えてこない。
60代	男性	県南地域	現時点では健康でありわからない。
60代	男性	県南地域	病院、医師数に不足があるとは思わないが、医療費が高額化していることは問題。
60代	男性	県西地域	常総市は隣のつくば市が医療機関が充実しているのでありがたいと思っています。
60代	男性	県西地域	産科専門病院の不足で遠距離通院となっている方がたくさんいる(少子化対策からも重視すべき)。
60代	男性	県西地域	身近に医師がいなくなる。
60代	男性	県西地域	総合病院の医者不足に行政が対応すべきである。県立医科大学の創設を希望する。
60代	男性	県西地域	健康診断の受診、人間ドック等の利用補助の増加が必要。
60代	男性	県西地域	子どもを生みやすい環境整備(産婦人科医師)。
60代	男性	県西地域	誰も老いと2つや3つの病気はあるので、財源の充実を希望。
60代	男性	県西地域	住んでいる場所の近くに医療機関があるかどうかにか左右される。
70代以上	女性	県北地域	自身が丈夫なのであまり医者にかからないので現状でいいと思う。
70代以上	女性	県央地域	救急車の受け入れ病院を探すのに時間が長くなり不安だ。年齢が増すごとに思います。
70代以上	女性	県南地域	茨城県の医師不足は全県の中で問題。特に高齢者の扱いがひどい。
70代以上	女性	県西地域	これからの若い人の負担が大変なので、高齢者もしっかり医療費は払うべきである。
70代以上	男性	県北地域	高齢化、人口減など少子化と共に行政の重要課題である。
70代以上	男性	県北地域	医師、看護師、医療機関の優遇を考えるべきである。
70代以上	男性	県北地域	産科医師不足で市内で出産できないでいる。
70代以上	男性	県北地域	専門的、機械的で部分的診断で心もとない。医は人術で心にしみる会術、心術が不足。病院での待ち時間が長過ぎる。
70代以上	男性	県北地域	今は高齢者が自分自身である程度対策できる病気でも、すぐ病院に行くとところが問題を大きくしていると思っている。
70代以上	男性	県北地域	我が市でも病院がなくなってきたりして医院となっている。
70代以上	男性	県央地域	医師が県民の人口に対して十分であるとは言えない。
70代以上	男性	県央地域	長年医師を減し、病院を減しを医療費抑制策の矛先にして、現状まで追込み、かつ、抑制策の成功と放置しておいて、救急医療をはじめ地域医療の崩壊を実感してはじめて大騒ぎをしている為政者の無理解と無策に対して強く憤っている。
70代以上	男性	県南地域	健康は自分が管理すること。他人(社会)のせいにしらない。

年代	性別	地域	医師不足などへの考え
70代以上	男性	県南地域	医師の増加。現在あちこちの病院で医師がいないから休診していて、これからどうなるのだろうと心配だ。
70代以上	男性	県南地域	特に産院・助産院・小児科の充実を望む。
70代以上	男性	県南地域	地域格差があり、医師不足により特に出産に対する医療対策が不十分である(特に県北)。
70代以上	男性	県西地域	一般の医療は十分。産科医が少ないのが問題。
70代以上	男性	県西地域	医師は大切で、なりたい人も多いので支援していくことが大切である。
70代以上	男性	県西地域	頭が良いから、儲かるから等の医者志望は選別が必要。不足だからと充足するのはどうかと思う。

犯罪・テロなどへの考え

年代	性別	地域	犯罪・テロなどへの考え
30代	女性	県央地域	テロ対策には力をいれるべきだが、だからといって防犯カメラが増えることには不安も感じる。
30代	女性	県南地域	日本は平和ボケしているので、危機感が薄い。少年犯罪や殺人には厳罰を。
30代	男性	県央地域	治安の悪さは目に余る。安心して暮らせない。
40代	女性	県北地域	情報が不十分。どこにも逃げ場がない。誰が日本を守るのか。
40代	女性	県北地域	身近な治安を考えてほしい。コンビニのアダルト雑誌やサイトの取り締まりなど。
40代	女性	県央地域	テロ対策などお金がかかる事なのでバランスが大事だと思います。
40代	男性	県北地域	軽犯罪の多発により警察官が事後処理に追われて、本来最も大切な防犯業務に時間を費やせていない感がある。警察官の人的な確保の一方で、市民力を推進できるような助成制度も検討する必要性を感じる。
40代	男性	鹿行地域	行方警察署があるだけ安心していられる。
40代	男性	県南地域	警官は日々走り、歩き、声をかける。抑止力になる。
50代	女性	県北地域	派出所も広域になり身近にありません。町に一カ所もないのは不安です。
50代	女性	県北地域	警察官の飲酒運転などのニュースを聞くと、誠実に勤務している警察官の気持ちはやりきれないだろうと思う。身内に甘い体質はないか検証してほしい。また、旧弊な意識や因習にとらわれて人権を無視したりはしていないだろうか。
50代	女性	県央地域	このごろ防犯の地域活動がさかんになってきている(安心・安全への市民意識向上)。
50代	女性	県央地域	凶悪な犯罪が増えている。安全な日本を取り戻すべく社会体制、教育、家庭のあり方全てを見直すべきだ。
50代	女性	鹿行地域	私の地域では犯罪が増えている。
50代	男性	県北地域	国民のモラル低下と、景気悪化に抛り多発。
50代	男性	鹿行地域	警察だけが情報を独占しないで、善良な市民にはもっともっと情報を開示し協力を得るべき。警察組織の特異性も改善してほしい。
50代	男性	県南地域	若い人達のモラルが心配である。
50代	男性	県南地域	今後種々の格差拡大に伴い治安の悪化は必至と考える。
50代	男性	県南地域	原子力施設、研究所施設には警戒が必要。交通安全対策が重要。
50代	男性	県南地域	警察全体の力が落ちていと言われるが、(軟弱な)世の中全体の趨勢と同一軌道だと思えます。実態は誰にもわからないと思う。
50代	男性	県西地域	警察力の強化。良い事につながると思います。
50代	男性	県西地域	若者の道徳教育に不安あり。高齢者の年金不安がもたらす犯罪。
60代	女性	県央地域	治安とはどのようにとらえていくのか、もう少し分析するべきではないか。知能犯が増える今、必要となっていると思われる。
60代	女性	県央地域	犯罪などの増加。残虐化の不安。警察官の弱体化。
60代	女性	県央地域	夜6:00過ぎると店は締め、街灯も路地に入ると暗く、人通りが少ないので、パトカーの巡回や派出所には警官がいてほしい。
60代	女性	県南地域	道路が良くなるにつれ外から入って来ての犯罪が増加するのでは。
60代	女性	県南地域	空巣が多いと認識している。空交番の改善は出来ないものだろうか。
60代	女性	県南地域	地域の犯罪は地域の絆で補えると考え。県政は課題は何で何に取り組んでいるのか住民に知らせる必要大。
60代	女性	県西地域	地域住民の意識を高めていく必要がある。
60代	男性	県北地域	毎日犯罪が起きている。
60代	男性	県北地域	犯罪が比較的少なくあまり実感が無い。
60代	男性	県北地域	犯罪が増加してきていることが気になっている。生活不安がそうさせるのかとも思う。非常に大きな問題だと思う。
60代	男性	県北地域	検挙率が下がれば犯罪は増加すると思われる。
60代	男性	県央地域	毎日のように日本各地で犯罪が起きている。教育の面でもっと小学校から徹底した心の教育をしてほしい。
60代	男性	県央地域	予防的対策にもっと力を入れて、大きな事故・事件の未然防止に役立ててほしい。例えば、制服、私服の警察官が巡回して小さな規則違反、犯罪(自転車無灯火、車の大きな排気音など)にさりげなく細かく対応するようにはどうか。
60代	男性	鹿行地域	暴走族対策。不法投棄対策が不足。
60代	男性	鹿行地域	私の町では大きな事件は起きていないとは思わない。
60代	男性	県南地域	自衛隊、警察の人員削減は治安対策としてもマイナスである。

年代	性別	地域	犯罪・テロなどへの考え
60代	男性	県南地域	おとり捜査の法制化, 機密漏洩の強化法など複雑化する社会の法整備が遅れている。
60代	男性	県南地域	空巣をはじめ防犯には常に気をつけている。特にゴミをなくし町をきれいにしていきます。
60代	男性	県南地域	殺人事件, 自殺の多発は防止, 予防の点から不十分。
60代	男性	県南地域	県としての施策があまり見えてこない。
60代	男性	県南地域	警察官の定員を削減すべきではない。消防と共にこの職は暇ほど良い。
60代	男性	県西地域	近所で盗みがあり心配です。すぐにパトカーで対応してもらえるのか心配です。
60代	男性	県西地域	特に危険を感じた事はない。
60代	男性	県西地域	駐在所が不十分。
60代	男性	県西地域	県内の発生情報の伝達(実例), 知識の向上を図る事はどうか?
60代	男性	県西地域	現状の実績と対策も含めてもっとPRしてほしい。
70代以上	女性	県北地域	日立駅前など夕方, 夜にかけてパトロールをしてほしい。
70代以上	女性	県央地域	最近の水戸警察署の事件などを考えると, しっかりしてと頼みたい。
70代以上	女性	県南地域	まあまあ十分であろうか。
70代以上	女性	県南地域	警察官の増員。地域の交番活動等問題が多い。
70代以上	女性	県西地域	治安対策に関して, がんばっていると思うので今後もよろしく願いたい。
70代以上	男性	県北地域	無駄と犯罪に大きな相関関係がある。キャリア教育が欠かせない。防犯の基本は就業と教育だ。
70代以上	男性	県北地域	防空対策が不十分だと思う。
70代以上	男性	県北地域	治安体制の一層の強化が必要。
70代以上	男性	県北地域	警察の防犯知識や対策以上に犯罪者が先手を打っているようではない。犯罪者の心理の解明の仕方に問題がある。治安対策は警察の権力に溺れることのないようにしないと, 権力だけでは後手となる。
70代以上	男性	県南地域	犯罪者の検挙率が悪くなっている。もっと地域社会と結びつく活動が必要である。
70代以上	男性	県南地域	警察官を増員すべし。仕事をしない警察官は辞めさせるべきである。
70代以上	男性	県南地域	犯罪の増加に対して対応しきれていない。
70代以上	男性	県南地域	県だけでは対応できないだろう。
70代以上	男性	県西地域	情報公開が必要で, 市民の活動と相まって, 効果がある。
70代以上	男性	県西地域	もっと強化すべき。特に外国人犯罪。
70代以上	男性	県西地域	治安対策は県民全体の意識がレベルアップしないといけない。

残留農薬・食品偽装などへの考え

年代	性別	地域	残留農薬・食品偽装などへの考え
30代	女性	県央地域	もっと無農薬や有機野菜作りに力を入れてほしい。
30代	女性	県南地域	国産は安全・・・というのは神話になりつつある。偽装のないようチェック機構を改善してほしい。
30代	男性	県央地域	自己防衛しないと恐くて食べられない。
40代	女性	県北地域	今、無農薬とさかんに進めているが、全体的に商品にするには農薬づけ、偽装がありそうだ。
40代	女性	県北地域	消費者が勉強しても限度があり、“信頼”しかない。
40代	女性	県北地域	チェックがあまいと思います。
40代	女性	県央地域	法律できちんとしてチェック体制を厳しくしてほしい。
40代	女性	鹿行地域	農業中心の県であるので、他県に先がけて行ってほしい。
40代	女性	県南地域	野菜が規格外であったり、見てくれでない本物のPRが必要。
40代	男性	県北地域	安価主義に走り過ぎているため、コスト削減などの理由で様々な問題が発生していると思う。地産地消は勿論、県内または国内の食に対する安全性についてももっとPRすべき。安全安心について輸入製品との違いをアピールする必要性を感じる。
40代	男性	鹿行地域	各JAでも努力しているが安易な考えを持つ農家も(高齢の方)いるのが現実。
40代	男性	県南地域	プロ不在。プロは不良品を取り除く。素人は良し悪しのラインが分かっていない。
40代	男性	県西地域	チェック機関の徹底化。
50代	女性	県北地域	偽装をする会社のモラルも低下しているのかもしれませんが、見逃してしまう行政もしっかりしてほしいと思います。
50代	女性	県北地域	消費者は食品表示に頼るしか食品について知る術がない。偽装は論外だとしても現在は表示なくいいとされる加工品(刺身盛合せなど)やGM食品使用の表示なども表示して消費者の知る権利を守ってほしい。
50代	女性	県北地域	もっと無農薬や有機野菜作りに力を入れてほしい。
50代	女性	県央地域	偽装事件が次々見つかって、安心して食す事が出来ない。行政の抜き打ち検査など必要と思うが、個人としては食品モニターをしたが、あれは果たして効果があるかは疑問だ。お役所仕事のような気持ちになった。
50代	女性	県央地域	自分で原産地がどこか確かめ、地産地消に心がけている。
50代	女性	県西地域	直売所が増えているが見栄えを良くするために(農家の方が)洗剤を使っているのを見てショックを受けた。生産者が悪いのか、消費者が悪いのか複雑である。
50代	男性	県北地域	我が国民の神経質さが問題。
50代	男性	鹿行地域	安全なものはコストがかかり、価格の安さには限界がある。消費者の安ければいいだけの視点を変えていく努力が必要。
50代	男性	県南地域	安心・安全な食生活を営めるよう対策をとる。
50代	男性	県南地域	農林水産省、厚生労働省、(新設)消費者庁の連携いかん。縦割り行政に横串が通じるか、一元行政(安心安全面)を期待したいが。
50代	男性	県西地域	外国からの輸入品に不安あり。
50代	男性	県西地域	消費者自身が賢くならなくてははいけません。
60代	女性	県央地域	安心と謳われている物も実はそうではなかったと言われる昨今、何を信じたら良いのかわからない。
60代	女性	県央地域	今まで考えられないような事件に戸惑う。
60代	女性	県央地域	外国製品が日本の産地の名とすりかわって売られていることにびっくり。八百屋さんにきくと「安く売るにはやむを得ない」との返事があった。外国の農薬も調査してほしい。
60代	女性	県央地域	ちょっと油断すると人間の悪玉が動き出します。調査員のチェックは年間計画にしてほしいです。
60代	女性	県南地域	安全性の確保は細やかなチェック、予防策が必要。手抜きをしないで県政で行なってほしい。
60代	女性	県南地域	昨年あたりから続く偽装表示や使い回しなど不安がいっぱい。もう少し検査態勢を整備し、地産地消、目に見える食品が望ましい。
60代	女性	県西地域	農薬使用の制限など取り決め、徹底する必要があると思う(かなりの頻度で使われているため)。
60代	男性	県北地域	外国産に依存せず国内産(安全食品)の生産拡大を図り、活用する施策が必要である。
60代	男性	県北地域	監視体制の強化と速やかな対応と公表を望む。
60代	男性	県北地域	対策はしているが、食品偽装等はモラルの問題。

年代	性別	地域	残留農薬・食品偽装などへの考え
60代	男性	県北地域	地域産は安全と考えている。大手食品会社が食の安全を疎かにするのは言語道断で行政のチェック体制が肝要。
60代	男性	県北地域	地産地消に徹し、極力自分の口は自分で守るという事で食料の自給率を国も地方もそして個人も上げる努力が必要ではないか。
60代	男性	県北地域	不祥事が報道されることが多くなってきている。昔から言われてきた日本人の道徳心は崩れてきていることが残念である。十分な施策を願いたい。
60代	男性	県北地域	問題が出てから騒ぎ出す。
60代	男性	県央地域	賞味期限による無駄が益々増加するのでは。
60代	男性	県央地域	製品を検査して安全点検をするだけでなく、飼育、作付け、製造段階からの一貫したラインの点検を抜き打ちで行い、安全意識の啓発に努めてほしい。
60代	男性	県央地域	何が安全か不安である。
60代	男性	鹿行地域	農薬を使用しなければ食糧は生産できないと思います。
60代	男性	県南地域	安心安全な食料は大切。偽装など絶対許せない。
60代	男性	県南地域	加工食品を含め産地表示・トレサビの表示を徹底させる。
60代	男性	県南地域	地場産を購入しています。農家との融和を図っています。
60代	男性	県南地域	食品の安全対策として県がもっと前に出てほしい。例えば定期的な抜き打ち検査など。
60代	男性	県南地域	生産者名の記入ができれば、また、産地は県のみなので、もう少し詳しく記入できれば。
60代	男性	県南地域	地産地消促進、国内食料自給率改善。
60代	男性	県南地域	良からう安からう的なサービスが目立ち過ぎる。消費者モニターなどの活動分野への配慮が必要。
60代	男性	県南地域	流通業界が信用できない。海外の生産者は全く信用できない。国内の直売システムを確立すべき。
60代	男性	県西地域	国内産使用を原則としている。
60代	男性	県西地域	十分であるとは言えないが、偽装が発覚したら厳しい対応を希望。
60代	男性	県西地域	食品偽装のニュースを見るたびに、もっと厳しくチェックできないのかと思います。
60代	男性	県西地域	輸入に頼らず国産品(特産品)を中心に自給率向上の推進。
60代	男性	県西地域	輸入品が大いに不安。
70代以上	女性	県北地域	スーパーより産直販売の野菜などが安心である。
70代以上	女性	県央地域	大変不安に思うがHACCP制度が出来た事もあるので少しは信じようと思う。
70代以上	女性	県南地域	消費者教育、啓発の場が少ない。活動団体を支援し地産地消の充実をはかる。
70代以上	女性	県西地域	安全対策これから大変だと思うが、今のまましっかり続けてほしい。
70代以上	男性	県北地域	関係機関での徹底した指導が必要。
70代以上	男性	県北地域	規制を強化すべきである。
70代以上	男性	県北地域	生産者は無農薬に心がけているが、商品としての付加価値を上げるためには農薬が欠かせない。検査と指導が行き届かない偽装の断罪を。
70代以上	男性	県北地域	トレーサビリティが不十分であり検査機関の能力不足もある。
70代以上	男性	県北地域	問題が起きてから調査・対策するという事後対策と対処療法は根本的に改め、予防対策に移行すべきだ。
70代以上	男性	県央地域	特に、農薬に対する対応、無理解(生物に対する)には驚きを禁じえない。
70代以上	男性	県央地域	標示が信用できないのが困る。
70代以上	男性	県南地域	1人ひとりの意識を向上させる方法が大切。
70代以上	男性	県南地域	生産者・流通業者の意識向上を希望。
70代以上	男性	県南地域	マスコミが不安をあおっている。
70代以上	男性	県南地域	レストラン等の外食の中に残留農薬のある食材を使用しているのではないのか。
70代以上	男性	県西地域	偽りの行動をした者へのペナルティは大きく。
70代以上	男性	県西地域	基準を徹底して実行し、守る必要がある。
70代以上	男性	県西地域	偽装を見抜く食品Gメンが必要では。

ゴミ処理・省エネなどへの考え

年代	性別	地域	ゴミ処理・省エネなどへの考え
40代	女性	県北地域	山にはゴミが散乱。生ゴミの回収日にはカラスに。道はゴミだらけ。
40代	女性	県北地域	リサイクルの状況はどうなのだろうか。
40代	女性	県北地域	設備にお金がかかるので、すぐは難しいと思いますが将来のために必要な事だと思います。
30代	女性	県央地域	プラスチックが燃えるゴミになることに反対。リサイクルすべき。
40代	女性	鹿行地域	都心に比べ、ルーズな部分が多々ある。
30代	女性	県南地域	産業廃棄物が出にくい法令にすべき。修理するより買う方が安いから、捨てて買うサイクルを減らす。エコポイントもまだ使えるのに車やTV、家電品を手放さなければならないのはナンセンス。
40代	女性	県央地域	ゴミ処理にお金がかかりすぎ。県民を第一に考えてほしい(もっと低価格で環境に良い方法を選んでほしい)。
40代	女性	県南地域	ゴミの分別の仕方が市町村でまちまちであり統一性がない。レジ袋が廃止されてもエコバックが高すぎたりしてレジ袋を配布する所で買物をするようになる。
40代	男性	県北地域	限りある資源について危機感をもう少し自負してもらえるように啓蒙する必要があると感じる。
40代	男性	県央地域	もっと市民に理解・協力してもらえるようにしてほしい。
40代	男性	鹿行地域	ゴミ処理場の熱をプールや健康センターに利用。ゴミ処理場に県から市へ運営補助金をもう少し増。
40代	男性	県南地域	太陽パネルをもっと助成し、限界集落でも収入を得られるようにすべき。
50代	女性	県北地域	消費者がゴミを減らす事ももちろんですが、販売者ももっとゴミを減らすべきだし、リサイクル・リユースなど、もっと広めるべきだと思います。
50代	女性	県北地域	不法投棄されるゴミにより山林や水資源、土壌汚染が起きてしまう。違法なゴミ処理を取り締まってほしい。
50代	女性	県北地域	洗っているポリゴミの水資源と水道代の増加。納得がいかない。
50代	女性	県央地域	ゴミ袋の有料化など全国規模で広がってきたが、他にもそうした運動が展開できないか。ゴミ埋立地がなくなるや大気汚染、地球温暖化など早い対応が必要なのだが…
50代	女性	県央地域	年に何回か、クリーン作戦を実施している。特に皆が集まり、使用する所が汚れている。
50代	女性	県西地域	温暖化防止のため、良き茨城の姿を残すため、力を入れるべきである。
50代	男性	県北地域	「もったいない」を合言葉に大量消費主義から脱却。
50代	男性	鹿行地域	循環型を視野に入れて総合的な対策の立案が必要。
50代	男性	県南地域	ゴミの不法投棄。これもモラルが心配。
50代	男性	県南地域	前提条件の枠組み(アメリカ、中国や後進国も)が合意されればですが、90年度比25%削減を達成するためには不十分である。
50代	男性	県南地域	世紀単位でつくられてきた現環境を10年単位で復元するためには、いずれにせよほどの覚悟が要される。
50代	男性	県西地域	ゴミ分別、リサイクル、だいぶ進んでいます。
50代	男性	県西地域	もっと厳しく分別を市町村に求めては(市町村で差があり過ぎる)。
60代	女性	県央地域	分別ゴミの収集が出来てきているのに、今後、農家の廃棄物、田畑の煙などは問題にしないでほしいのか。
60代	女性	県央地域	ゴミ処理の分類には賛成。今、推進中のレジ袋については、衛生面から一考が必要ではないか。
60代	女性	県南地域	現在の日本人の生活をこれ以上急に変える事は無理だと思う。
60代	女性	県南地域	国の対策も十分ではないし、県民の意識も低い。広報に力を入れてほしい。温暖化対策も90年比25%減の目標を達成すべく企業も県も住民も一体となって行動すべき。
60代	女性	県南地域	4年生の社会科でゴミの学習がある。あのレベルで良いから一戸から出されるゴミを少なく、また各戸で有効利用をPR。
60代	女性	県西地域	子供達が小さい頃から教育の中に取り入れられ、しっかり意識を持つ事が大切であることを教えてほしい。
60代	男性	県北地域	高速道の値下げ等は省エネに反する原因となる。
60代	男性	県北地域	まだ大量生産・大量消費の体質から脱却していない。過大包装が目立つ。地球温暖化防止の政策を最優先に取り組んでほしい。
60代	男性	県北地域	個人の努力により改善できるものも相当あると思われる。
60代	男性	県北地域	義務教育の中で、もう少し環境問題に力を注ぐべきかと考えます。特に第一次産業はそれに直結しますので、教育の中で参画するようにしてほしい。

年代	性別	地域	ゴミ処理・省エネなどへの考え
60代	男性	県北地域	道路脇の空き缶，食べ物かすの散乱など目立つようになってきている。道徳心の欠如をどう補うのか今後大きな課題だと思う。
60代	男性	県央地域	省エネ対策，特に家庭での省エネ。
60代	男性	県央地域	省エネなど環境対策に関われば，時間や金銭面で優遇措置を受けられるような，環境を前面に出した取り組みを推進したい。シルバー人材からの支援ポイントを受けられるとか。
60代	男性	県央地域	もっと再資源化するべき。
60代	男性	県央地域	地球温暖化防止のためにも省エネを強力に推すべき。
60代	男性	鹿行地域	不法投棄，公園・道路でのポイ捨てなどモラルが低い。太陽光発電，コンポスト，雨水利用などの積極的取組(PR，支援)不足。
60代	男性	鹿行地域	完全ではないと思いますが，不十分でもないと考えています。
60代	男性	県南地域	太陽光を利用した対策を推進すべきである。
60代	男性	県南地域	リサイクルの意識を教育すべき。
60代	男性	県南地域	住民の意識が低すぎる。ある程度行政指導が必要。
60代	男性	県南地域	生ゴミの再生利用を図るべき。食品廃棄物，生ゴミからプラスチックのリサイクル，可燃ゴミから生ゴミを省けば重油が不要となる。またゴミ火力発電が可能となる。
60代	男性	県南地域	まち全体は以前よりすごくきれいになりました。市町村境界付近にゴミが多い。
60代	男性	県南地域	過剰な包装(パック，紙，トレー)をやっていることを一つとして，より積極的に行政が指導監督すべき。
60代	男性	県西地域	産廃などの違法処理については厳罰にすべし。
60代	男性	県西地域	増加する廃棄物の処理。
60代	男性	県西地域	ゴミの回収，各市町村に頼っているが，明細等は分かるが分別，回収，バラツキがあり，統一する事が必要。
60代	男性	県西地域	太陽熱発電利用について民間会社の働きかけは多いが投資と便益が不明確なので行政側の説明がほしい。
60代	男性	県西地域	我が市には，資源ゴミなどはデポジット制による返金があるので充実はしている。
70代以上	女性	県北地域	車(ハイブリット)からの排気ガスがかなり減ると思うので期待している。
70代以上	女性	県央地域	すべての面において，良くなってきたと思います。
70代以上	女性	県南地域	国・県の指導は当然だが，地域にあった対策に行政・市民の学習不足。
70代以上	女性	県西地域	あまりにも過剰包装だと思う。河内町は牛乳やパック類を集めないで，どのスーパーも省エネに協力してほしいと思います。
70代以上	男性	県北地域	現在はゴミ処理の点は良くなってきていると思う。
70代以上	男性	県北地域	省エネの意識の高揚については十分とは言えないが，ゴミ処理については行政とのタイアップで処理が徹底している。
70代以上	男性	県北地域	問題の本気度が希薄だ。住民が自ら環境対策に努めるよう行政の率先対策と熱意ある指導が欠かせない。
70代以上	男性	県北地域	地球温暖化をもっと真剣に考え検討することの不足を痛感する。
70代以上	男性	県北地域	行政の指導より，人々の意識の低下が心配。
70代以上	男性	県北地域	ゴミ処理は相当に向上したと思う。省エネは家庭においては未だ行き届いていない。
70代以上	男性	県南地域	自動車の排ガス規制については県条例により厳しくし，きれいな茨城の実現を進めるべきである。
70代以上	男性	県南地域	ゴミの分別をもっと細かく分け，再利用につなげるべきある。
70代以上	男性	県南地域	ゴミは誰が出すのか良く考えてほしい。社会(他人)任せの心では困る。
70代以上	男性	県南地域	ペットボトル・トレイ・パック材など元を断つ工夫がほしい。
70代以上	男性	県南地域	各自治体は努力しているが県民のマナーが悪すぎる。
70代以上	男性	県西地域	一般市民へのPR，行政の実行力が肝要である。
70代以上	男性	県西地域	各地でエコを実施。抵抗が少ないこの機を逃さず強行方針要。

行政サービスの民営化や市民団体への委託への考え

年代	性別	地域	行政サービスの民営化や市民団体への委託への考え
30代	女性	県央地域	全ては県民のためにが前提であり民営化することが節税やサービス向上になるなら積極的に賛成です。
30代	女性	県南地域	委託は賛成です。お役所仕事で税金(給与)ドロボーと思う人材が時々いるので。
30代	男性	県央地域	利権の巢になるだけ。
40代	女性	県北地域	悪質な業者が出てこないか心配。
40代	女性	県北地域	職種によるが、質の低下やプロ意識の低下が不安。
40代	女性	県北地域	民で行える事は民で、公と民とわかる事が必要。
40代	女性	県央地域	本当に必要なサービスを残し、無駄な施設は税金の無駄遣いなのでなくすべき。
40代	男性	県北地域	国も県も財政難の昨今、当然推進すべきであると感じる。
40代	男性	県央地域	天下りはしてほしくない。
40代	男性	鹿行地域	行財政改革は必要だが、あまり県民に負担のかからないように。
50代	女性	県北地域	まず正規の職員が民間会社位の仕事をこなせば良いと思います。まだまだ余裕があるように見えます。
50代	女性	県北地域	民営化によるサービスの低下は困る。役職をもった公務員の天下り先となってもよくない。市民団体の活動が活発になるのはよいが。
50代	女性	県央地域	行政で問題が多くある今、とにかく無駄遣いをしないこと。安くできるのであれば民営化は賛成であるが、効果がはっきりしないとなんとも言えない。
50代	女性	県央地域	市民の目線で、満足のいくサービス追求をしていきたい。
50代	女性	鹿行地域	協働。行政がやるべきこと、市民がやるべきこと、連携が大切である。市民の自治意識。
50代	女性	県西地域	自力、他力、協働力が大切なのでは。無駄を省き、埋もれた宝は活用すべき。ボランティア精神大切です。
50代	男性	県北地域	行政が箸の上げ降ろしまで面倒見てきたために、自立心が育たなかった。
50代	男性	鹿行地域	大げさに言えば、その道しか行政の生き残る方策はないと思う。
50代	男性	県南地域	区会活動の推進。
50代	男性	県南地域	効率化ばかり追求していくと危険要素(個人情報漏えいなど)をはらむが、民営化の流れは止められないと思う。
50代	男性	県南地域	進めるしか方法がないと考える。
50代	男性	県西地域	地方公務員の人件費の削減を図るべき。
50代	男性	県西地域	内容によります。行政サービスこそ行政の仕事ではないですか。
60代	女性	県央地域	ゴミの収集などは休日でもなされる点から賛成。これからは多くの場で触れ合いを進めることが必要。
60代	女性	県央地域	老人介護のケアなどについても非常に不公平・不安を感じる。
60代	女性	県南地域	お金をかけないで安上がりで済ませようとする意向に反対。民間委託にも行政から支出すべきである。人件費を減らすためなら、現職員を減らすか、職員が精一杯仕事すること。
60代	女性	県南地域	公共で行なう事と民営化できる事業の選別を慎重に行なうべき。効率化だけを追求すると弱者に負担がかかるし、何でも公で行なうと無駄が出る。個別に聞いてもらえれば、はっきりと答えられると思う。
60代	女性	県南地域	どの位の専門的な知識を持っているのかが必要だと思います。
60代	女性	県西地域	あまりにもボランティアに頼るのはいかになものか。多少なりとも報酬を考慮してはいかんか。
60代	男性	県北地域	ある部分では必要と思う。しかし根本的には行政のリーダーシップが最も重要と思っている。
60代	男性	県北地域	行政は行政としてやらなければならないものだけに限定し、民間でできるものは民間にすべきと考えます。世の中の中心は民であり、行政はそれをサポートする立場とし、自立した民を育てるべきと考えます。
60代	男性	県北地域	行政を委託する事そのものが業務低下になっている。数年前、省力化と簡素化を目的とし情報機器に多大な予算を投入して導入した結果、行政職員の数はほとんど減っていない。1人当りの労働量軽減だけで県民、町民へのサービスなど、ほど遠い現実。
60代	男性	県北地域	県の財政を憂慮している。民間でできるものは民間へ、県の組織をスリム化してほしい。
60代	男性	県北地域	内容によりけり。
60代	男性	県北地域	民営化すべきサービスもあるが、行政で安心も必要。
60代	男性	県北地域	良くなる面とコスト高になる面があると思われる。

年代	性別	地域	行政サービスの民営化や市民団体への委託への考え
60代	男性	県央地域	定型的なものや軌道に乗ったものについては委託を進め、行政は本質的なもの、行政サービスの在り方の検討、計画立案、実施等々に力を入れるべきと考える。
60代	男性	県央地域	まだまだ行政の面での無駄をはぶく必要がある。行政に民間から登用して刷新していくべきだ。
60代	男性	鹿行地域	高齢者でも元気な人は多数いる。ボランティア・嘱託などで活用すべき。新しい試みについて、もっと積極的に募集PRすべき(日頃何かしたいと思っても、一歩が踏み出せない人は多い)。
60代	男性	鹿行地域	民営化によって法が乱れる恐れがあるが、行政側ももっと現実にそってがんばっていただきたい。
60代	男性	県南地域	委託先の解散や倒産で、行政サービスが停滞し責任所在が不明になる。
60代	男性	県南地域	行政は良く見ると多忙すぎる。可能な限り市民団体への委託を進めるべきと考える。
60代	男性	県南地域	現時点での総括が必要では。必ずしも良いとは思わないので。
60代	男性	県南地域	県の業務改革の舵取りを県民自身が提案すべきである。
60代	男性	県南地域	効果(費用と内容)が不明。また、委託費支出に伴う行政の直接経費(職員人件費、その他経費)が減少しているか不明。
60代	男性	県南地域	スピードがある。無駄がない。常に前向きに対応しています。
60代	男性	県南地域	正職員の報酬が高すぎる。
60代	男性	県南地域	タイムワーキングにて民営化導入は大いに発揮すべき事である。
60代	男性	県南地域	民間では信頼に欠ける。
60代	男性	県西地域	JR, NTTなどを見ても民営化が効率的である。市民団体は責任の所在が少し曖昧な点があり、非委託が良い。
60代	男性	県西地域	行政と民間の一体性を強める。
60代	男性	県西地域	効率良いサービスのために賛成です。
60代	男性	県西地域	指定管理者制度を見直し、対応していくべきだ。
60代	男性	県西地域	絶対に必要である。
60代	男性	県西地域	民間へ移した場合でも料金などの監視はすべき。
60代	男性	県西地域	無駄なこと、一方で怠慢となつてはこと有りき。
70代以上	女性	県央地域	なあなあ主義を改善するには必要だと思います。
70代以上	女性	県南地域	行政・市民ともに成熟した社会への学習が先決では？
70代以上	女性	県西地域	市民団体に委託してやって欲しいと思います。
70代以上	男性	県北地域	ある程度はやむを得ない。
70代以上	男性	県北地域	かなり進んでいると思う。ゴミ処理の収集、環境整備、公民館管理など、かなり進んでいる。さらに検討すべきと思う。
70代以上	男性	県北地域	行政がやるべきこと、民間に任せでもいいことを腰を据えて区分し、試行後、良いものは即実行すべきであり財源にとらわれるな。
70代以上	男性	県北地域	行政サービスの民営化や市民団体への委託をすれば良いと思う。
70代以上	男性	県北地域	サービス内容によって合理化すべきものがあると思うので賛成。
70代以上	男性	県北地域	市民サービスが悪くなる。
70代以上	男性	県北地域	なんでも行政主導思想主義は、とくに終焉を期しているのに公務員も忝性根性の修心改善が出来ていない。地域の活性化は地域人の結集で築くために集団の育成支援、行政と民間人の研究サークルの結成を望む。
70代以上	男性	県央地域	進めるべきだが高齢者が多いと思うようにならないのではないか。
70代以上	男性	県南地域	一長一短があり、掛け声に終わっているくらいがある。
70代以上	男性	県南地域	コントロールをうまく行い民営化を推進して、コスト削減を図るべきと思う。
70代以上	男性	県南地域	住民が行政を頼りすぎる。市民にできる事の方向付けがほしい。
70代以上	男性	県南地域	見せかけの予算削減のための民間移行が主となっている。
70代以上	男性	県南地域	民営化しコスト低減を図るべきである。
70代以上	男性	県南地域	民営にすることは良いが、仕事に従事する人のモラル(コンプライアンス)の低下で個人情報を守られていない。
70代以上	男性	県西地域	市民の自主活動が大切で、サービスの期待をあおってはならない。
		県西地域	わかりやすく情報公開して市民のコンセンサスが必要。

生活関連の希望する施策

年代	性別	地域	生活関連の希望する施策
30代	女性	県央地域	不妊治療の助成金の引き上げと延長。ゴミのリサイクル化の推進(特にプラスチックゴミ)。
30代	女性	県南地域	非正規公務員の待遇を改善して下さい!!妊娠すれば退職届を書くことが当然の状態は、明らかに憲法違反をしていると官公庁自ら認めています。仕事をする全ての女性に産休育休の権利を。それが無理なら採用時に文書で労働者に指示しておくこと。
40代	女性	県北地域	子供の教育にお金がかかり過ぎる。特に私立高校、大学に通う子供達に広い枠の奨学金(無利子)がほしい。余裕があるから私立に行くわけではない。
40代	女性	県北地域	生活関連や生涯学習などの生きがいも望む。
40代	女性	県央地域	学校教育を見直し、できる子は上の学年へ進級できるシステムにしてほしいです。
40代	女性	県南地域	学童保育の完備と40代から50代の女性労働者の活用したベビーシッターの登録。
40代	女性	県南地域	総合病院のような大きな病院の建設をぜひ検討してほしい。
40代	女性	県西地域	雇用確保のための企業誘致をしてほしい。
40代	男性	県北地域	子どもの時期から地域コミュニティ活動などを通じて社会参加を促し、市民力や県民力を地域づくりに活かせるような施策や助成を希望します。
40代	男性	県央地域	バリアフリーの対策をきちんとしてほしい。ボランティアのネットワーク作りをしてください。
40代	男性	鹿行地域	子供を産みやすく、育てやすい環境の整備。少子化対策が内需拡大につながります。
40代	男性	鹿行地域	小中学生医療費無料と公共交通網の整備により各工業団地、複合団地への企業誘致推進により県民の雇用確保を望みます。
40代	男性	県南地域	インフラと地域間の公共交通の整備を望みます。
50代	女性	県北地域	県北地区の産業を活性化していただきたいです。企業誘致はもちろん漁業のでこ入れを望みます。常磐沖の美味しい魚を流通させ、魚価を安定させて雇用を生み出してほしいです。人手も不足していますので。
50代	女性	県北地域	若い医師が定着する待遇、住宅、勤務の施策。飲酒量とアルコール分解時間のデータをもとに、飲酒運転の危険性を知らせてほしい。飲酒後の睡眠数時間で運転する人が多いのではないかと事故のニュースなどから思っている。
50代	女性	県央地域	公立医療機関のスタッフの確保をしてほしい。第三者(団体やNPO)を通して行政ではできないことを推進してほしい。
50代	女性	鹿行地域	学力向上だけでなく環境教育を。ヨーロッパでは子供(小学校)から教育している。また、食育、食農体験、ものを育てるなどの教育で、情緒豊かな子供を育てていけば、犯罪も減少し、お年寄りも大切にしていきたいと思います。
50代	女性	県西地域	さまざまな雇用形態が職種や企業に導入されていけば、ワークライフ・バランスが良くなり、介護、男女共同参画、失業問題解決につながると思いますので、画一的社会がchangeすることが必要と思う。
50代	男性	県北地域	誰もが安心して尊厳を保ち心豊かに暮らせる社会を。
50代	男性	県央地域	ボランティア活動は同じ人が色々なものに参加して、やらない人は全く生涯かかわらないことが問題。
50代	男性	鹿行地域	児童生徒の人格形成が最も重要なので、先生の質の向上が不可欠。何のために教育者になっているか解っていない教師が多すぎる。行政における市民活動の位置づけをさらに高めていく施策を希望する。
50代	男性	県南地域	心の豊かさ、またその裏付けとなる物の豊かさのある程度の満足感がすべての諸問題を明るく前向きに協動的に解決していく原動力になると考える。
50代	男性	県南地域	小学校の先生に質の向上を(特に情報教育もできるキャリアを積んだ先生方の配置を)強く期待したい。一方、IT教育のできる専任教師の配置も臨む。
50代	男性	県西地域	病院で最期の時を迎えられる態勢を望みます。少し病状が良くなると転院をすすめることに問題があります。学校の先生の質の問題もあるが、教育ではやはり心の教育が欠けているのでは。学校教育と家庭教育の両立を求めます。
60代	女性	県央地域	介護施設を企業化している団体が増えつつあり、事件などが起きる前に、立ち入り検査をしてほしい。「生涯学習」については、公共施設として図書館がほしい。

年代	性別	地域	生活関連の希望する施策
60代	女性	県央地域	今後30年間は高齢社会で医師育成、病院と早急に検討してほしいと思います。新しい道でも、目の不自由な人、車イス、杖を使っている人にとってあまり良い道とは思いません。斜道もつらいものです。年寄りや身障者、車の乗れない人にとって不便な町でしかありません。野菜、魚、肉の基本食のお店やお惣菜店が、駅やマンションにあるといいですね。
60代	女性	鹿行地域	道路の雑草処理等、安易に除草剤使用が多い。現場の状況を見て対処が必要。交通マナーが悪く信号があっても怖くて渡れないので、交差点での指導をしてほしい。
60代	女性	県南地域	市民活動やボランティア活動はネットワーク作りを支援し、後は独自に活動するようにすべき。
60代	女性	県南地域	障害児が通院する時、発達障害児も安心してかけられる医療機関が無く大変困っている。高齢者の孤独感は何で起きるのかを考えてPRしてほしい。みんなが就労できる地域、生涯就労ができれば生活の不安はなくなり地域は蘇る。
60代	女性	県南地域	女性が生きやすい社会になれば、男性にとっても子供にとっても生きやすくなると理解される活動を進めていってほしい。
60代	女性	県西地域	これからはボランティアの人達の力を大いに活用していかなければならない時代だと思うので、ボランティアの人達が楽しんで参加してもらえるよう、いろいろな角度から考えていってほしい。負担やトラブルなどがないようにスムーズな運営を考えてほしいと思う。
60代	男性	県北地域	100年先の日本の発展は、優秀な人材の育成にかかっている。教育には十分な予算的配慮を行いながら、学校教育に力を入れていってほしいと思う。
60代	男性	県北地域	県内全域に公平な医療体制の整備。未操業の工業団地への企業誘致、雇用の場の確保。
60代	男性	県北地域	県北地域に県立病院か大学病院などを誘致して県北全体の医療の立て直しを早急をお願いしたい。
60代	男性	県北地域	効果ある対策がされていない。
60代	男性	県北地域	国民年金は平均月額7万弱では、食費を切りつめ光熱費を節約し、最低の生活をしている現状で、病気になれば子どもに頼れない現実を踏まえた施策を。
60代	男性	県北地域	長期的には少子化対策、青少年育成を。緊急な問題は医療や保険、市民活動。
60代	男性	県央地域	過疎化対策の充実を望む。
60代	男性	県央地域	県全体で食糧の自給率を検討し、安心・安全な食を進めるべきではないか。
60代	男性	県央地域	県道の里親制度は認定条件がかなり厳しいと思う。個人ボランティアで活動できる50m歩道など清掃の全県下に普及できればと思っている。
60代	男性	県央地域	今後100年の大計を考えて教育への投資を計りたいものである。教育が「国の最重要課題」(中教審答申)であることから、義務教育にもっと公的投資をすべき。特に、担任の先生の数を多く配置し、一人の担任が少人数の子供を見られるようにしてほしい。さらに対象を「小3～4年まで30人学級」ではなく、中学校まで拡大し、名実共に日本の教育施策を先取りしてほしい。
60代	男性	県央地域	独居老人が安心して生活できる環境を整備してほしい。
60代	男性	鹿行地域	市町村毎に医療の点検をし、医師、科目の不足を補充するする施策。霞ヶ浦、北浦の水質向上対策(周辺住民の下水道整備を優先)。
60代	男性	鹿行地域	茨城県は上下水道の整備が遅れているので、整備を薦めてほしい。
60代	男性	県南地域	加工食品は原材料などわかりにくく、表示をしてほしい。学力向上もさる事ながら、男女の役割や男は男らしく、女は女らしくの教育してほしい。
60代	男性	県南地域	自然環境は一度壊してしまうと元に戻らないので調和が必要。食の安全では、毎日食べているものが、どこで、誰がどのように生産したかなどの表示が大切です。
60代	男性	県南地域	医療、少子化、高齢化、防災、食の安全、教育雇用、消費生活に対する対策は県レベルでは無理。国の政策に期待し、県政は積極的に国に働きかけを行なうべき。
60代	男性	県南地域	行政機関が行なうものには限界があり期待できない。必要以上に複雑にしている。
60代	男性	県南地域	県主導で食品製造・流通への定期的な抜き打ち検査を実施し食の安全を確保すべき(県民の安全・安心確保のため、性悪説に立たざるを得ない)。
60代	男性	県南地域	県税の無駄遣いで税が重く、少子化、高齢化の医療、介護、福祉が疎かになっているので、県政の業務改革が必要である。

年代	性別	地域	生活関連の希望する施策
60代	男性	県南地域	人格の形成には、教育における格差を是正することが不可欠と考えます。
60代	男性	県西地域	「自殺防止対策」。自殺に追い込まれ自ら命を絶つ人が後を絶たない。08年全国自殺者数32,249人(30,000以上11年連続)、茨城県は全国で12番目に多いので、もっとさらなる普及啓発を図ってほしい。
60代	男性	県西地域	医療費の補助等と介護関係の無料化。派遣(製造)をなくし、再度終身雇用の検討が必要。
60代	男性	県西地域	子育て支援も結構であるが、結婚したくてもチャンスがなくできない人が多い。また、独身者が老人になるとますます今後不安がある。結婚して子どもを産むというオーソドックスなパターンになるよう結婚支援に力を入れるべき。
60代	男性	県西地域	先日ビールの空缶を乗用車の窓から投げ捨てていた人がいました。酒酔い運転事故の悲惨さが叫ばれている中で、ひどいと思いました。最近、携帯電話をしながら運転している人を多く見かけます。取り締まって事故防止に努めてほしいと思います。
60代	男性	県西地域	総合病院の維持と共に充実するには県立医科大学を創設し医師の確保を。また、障害者の施設の充実(公立の基幹型地域活動支援センターを)と雇用法定率1.8%の達成に強化を図ってほしい。また福祉工場の創設。
60代	男性	県西地域	健康な生活を営めるために、病気の予防策を強化して望ましい。
70代以上	女性	県北地域	全国的における教育のレベルの向上が図れる学校教育にしてほしい。将来、茨城県をしっかりと支えられる大人になってほしいと思う。
70代以上	女性	県央地域	高齢化に伴い安心した老後を暮らす事ができるように県の老人ホームの充実を望みます(国民年金の金額で入居できる安心の憩いの場をお願いしたい)。
70代以上	女性	県央地域	男女が共に考え行動する。それぞれの特質を活かしあうことを基本にすれば食についても、生活においても解決策がある。
70代以上	女性	県西地域	高齢者の方にばかりお金をかけて、少子化対策は叫んでいる割に進んでいない。しっかり少子化対策してほしい。
70代以上	女性	県南地域	少子化は未婚者が多い、晩婚化が進んでいるなどが問題。マリッジサポートの推進。
70代以上	男性	県北地域	交通事故全国ワースト上位が常連。県民性と誤魔化さず、交通取締りを厳しくして。
70代以上	男性	県北地域	学力は与えて育つものでなく、自ら学ぶ意欲頻度によって向上の格差ができる。単に時教や量の増加によってでは学力向上は図れるものでなく、関心意欲の持たせ方、学び方など思考力、創造力など、もっと深化した方向と方策が重要である。
70代以上	男性	県北地域	交通事故が全国のワースト3に入っている。厳しい指導が必要と思う。
70代以上	男性	県北地域	男女共同参画が大切である。高齢者や障害者福祉も大切であります。みんなで助け合い
70代以上	男性	県北地域	人が生きるために必要なことの基本は次の世代に引き継ぐことだし、国なども成り立つためには人だ。そのためには少子化対策が必要かつ最重要課題だ。もう言葉だけの話はいらない。実行してほしい。
70代以上	男性	県南地域	産み育てるための医療体制の整備をしてほしい。市民や企業のできる事は市民や企業が行う方向付けをしてほしい。
70代以上	男性	県南地域	救急搬送者を病院の医師不在でタイ回しをしないでほしい。高齢者・障害者福祉について、特に精神障害者に働く職場を与えてもらいたい。
70代以上	男性	県南地域	茨城県の交通事故の多さ、マナーの悪さを考えると将来が心配で早急な対策を望む。
70代以上	男性	県南地域	学校教育の中にも道徳教育を入れてはどうか。
70代以上	男性	県南地域	仕事のできる(やる気のある)公務員(例えば警察官、教員など)だけにしてほしい。評価主義。低脳(無能)な人間は排除すべき。活気ある職場を切に願う。
70代以上	男性	県南地域	重要だと言われながら予算的裏付けや支援が行なわれていない。
70代以上	男性	県南地域	食品表示があまりにも多岐にわたっているので、もう少しわかり易い方策はないのか。その啓蒙展開を推進する。
70代以上	男性	県南地域	生活関連の店が地区にはなくなり遠くまで行かないと買物できない。不便である。利便な店がほしい。
70代以上	男性	県南地域	ボランティアに対する優遇が必要。
70代以上	男性	県南地域	本県の知名度アップと観光面のPRに工夫がほしい。
70代以上	男性	県西地域	結婚支援の強化と若年層の結婚できる環境づくり。農業、商業、会社員等誰もが結婚できるような所得確保などの条件整備を図ってほしい。
70代以上	男性	県西地域	高齢者に頭を使わせることが大切。若さを保ち、元気に長寿を楽しみたい。下水道の整備を進めてほしい。

地域の具体的な問題

年代	性別	地域	地域の具体的な問題
40代	女性	県北地域	地域の学校で数人の問題生徒の行動で授業や行事が成り立たなくなった時に、校長のリーダーシップや教員のチームワークが感じられない。教師の質が問題。校内だけでなく外部のサポートが必要かと思う。車を持たず、足腰の弱いお年寄りが買い物が出来ずに困っている。どうにかならないものか。
40代	女性	県北地域	資源、粗大ゴミの捨て場所は不明だし、夜間は特に診察は断られ、駅前(多賀)には若い人、中高年の買物が少なく、食料品店などない。生き活きしていない。死んだ町のような。
30代	女性	県央地域	歩道が狭いうえにバス停があり、安全に歩くことが困難。歩道にポイ捨てのゴミが多い。
40代	女性	県央地域	育児や介護と仕事を両立できる環境ではありません。保育園や学童保育の充実や老人も保育園のように昼間見ていただける施設が増えたと仕事が安心してでき税収も増えると思います。
40代	女性	鹿行地域	若い人の働く場がないため年寄りだけの家が多く、亡くなると空き家となってしまふところが多い。高齢者が高齢者を介護している(夫婦のみの家や息子が結婚せず、介護するほうも高齢となっている。産科をなくした病院がたくさんあり、妊産婦は遠くまで検診、出産に行かなければならない。
40代	女性	県南地域	小学校の児童の減少。離婚率の増加(経済的理由、古いしきたりの強制、親として未熟、実家に頼る)。
40代	女性	県西地域	近くに大きな病院がない。
40代	男性	県北地域	利便性追求や物質的な豊かさを求める傾向からか、若者を中心に都市部へ流出する現状が続いている。
40代	男性	県央地域	地域の民生委員から連絡がこない。こちらから連絡しても来てくれない。
40代	男性	鹿行地域	市のさらなる大合併が考えられる。
40代	男性	県西地域	工場は週休4日制、ハローワークには連日求職者があふれ、町の商店街はシャッターが閉まった店が多く見かけられる。雇用の確保が重要な問題になっている。
40代	男性	県西地域	市民病院が存続の危機。
50代	女性	県北地域	町中に食料品店が1件しかありません。当然隣町の病院も医者不足で緊急の時には日立市まで運ばれます。目の前が海です釣客のゴミや近辺から車で来てゴミを不法投棄していく方もいます。イタチごっこでも何か取り締まらないとゴミだらけです。
50代	女性	県北地域	緊急時に胎児妊婦に対応してくれる医療機関が少なく、小児科、耳鼻科などは風邪が流行すると患者が多くなるのに医療機関は少ない。商店街から書店、文具店が減り子どもの本離れなどが進むのではないかと心配。コンビニ、スーパーでの無言の消費行為が増えることで、人間関係の希薄化が広がっていくと思うし、地域とのつながりも減り、「街」への愛着も減り、定住する人も減ってくるのではないかとまで思う。
50代	女性	県央地域	クリーン作戦を団体で実施しているが、見えないところに投棄(自動車のタイヤ、自転車他)し、市町村へ連絡しても引取ってくれず、清掃実施団体が処理している現状です。モラルの向上を訴えたい。
50代	女性	県央地域	すぐそばまで下水道整備工事が行われているのに、私道に面しているということで、整備対象から外されているところが多いと聞く。
50代	女性	鹿行地域	外国人労働者の生活習慣、言葉等の違いによりトラブルが起きやすい。医師不足のため、病院の待ち時間がかかると同時に、緊急時の対応が出来ない。ゴミを捨てるのにお金がかかるからなのか、自分だけは良いとか、環境問題がまだまだだと思います。
50代	女性	県西地域	日野自動車の早期誘致実現。圏央道の早期開通。
50代	男性	県央地域	ゴミ分別の煩雑化(特にビン)が、高齢者にはわかりづらく分別コンテナなどのスペースがない住居も多い。商店街の衰退を食い止める努力をしなければ対策は生まれない。
50代	男性	鹿行地域	合併により小中学校の数が多く、統廃を進めていただき、効率の良い運営をお願いしたい。
50代	男性	鹿行地域	PTAや父兄が参加する行事は土曜日に集中している。地方で土曜日に休める人は多くないので、一人でも多くの父兄に参加してもらいたければ、父兄の一番参加できる日程及び時間にすべき。直接民主制を困難ではあるが考える時期にきているのではないかと。
50代	男性	県南地域	校舎の耐震工事、予算がなく遅れていること。

年代	性別	地域	地域の具体的な問題
50代	男性	県南地域	地区の高齢化に伴い、〈足〉の確保が必要であり、車に乗れないと大変不便となり、生活の質が維持できない。公共交通システムの再構築と身近な所にはお店が必要である。つくば市の学校適性配置計画では、我が地区の小中校の統廃合が予想され、地区の文化的・防災的拠点が失われ、人口減に向かう事が懸念される。
50代	男性	県南地域	駅前のお店空洞化。
50代	男性	県南地域	町全体としては活力のある町であるが、いくつかの集落では農業の放棄、若者減少など高齢化を含め様々な問題があります。地域間格差が著しくなるのが問題であると認識している。
50代	男性	県西地域	田畑に電気柵をするもイノシシ、ハクビシンに侵入され、農作物への被害が多発。カラスの被害も目立つ。
50代	男性	県西地域	他の地域の方が集積所にゴミを捨てていく。核家族になり家族が介護に取り組む事のできない社会はシステムに問題ある。農地に都会の残土を無理無理合法化して埋め立てしようとする。
60代	女性	県央地域	空き缶やビン類などを丁寧に分別しなければならない。高齢者なのでなかなか実行できず、たまりにたまってしまふ。もっと簡単にできないものかと思っています。
60代	女性	県央地域	一部の先生であるが、先生の指導力不足が問題。
60代	女性	県央地域	高齢化に伴い公共交通機関の確保などは問題にならないか。また商店が大型化し郊外型なので近辺の日常生活に必要な店の撤退などにならないか不安。
60代	女性	県央地域	町内に神社があります。台風大雨があつたら屋根、床、全て破損しそうです。管理はどこなのでしょう。修理するもどこへお願いや諸費用など支援してもらえるのでしょうか。町内住人は11家族位で寄付も無理と感じます。伝統芸術は少しずつ文部科学省あたりが応援援助しているようですが、古い神社等も考えて下さい。
60代	女性	鹿行地域	公共交通手段が全くなく、各々自家用車を使っていますが、定年退職後の人達の多い地域です。各々が高齢になり、車の運転が不可能になった時の移動手段を、今から考えていく必要にせまられています。有料ボランティアとして運転可能な人々の育成、システムの構築等意見を出し合い、実現できるよう願っています。
60代	女性	鹿行地域	私が一番困っている事は、ゴミステーションにカラスが多く、困るより怖い。犬が増え、家の前の通りにフンをして、間違っって踏みそうになり歩くのに大変。何とかしてほしい。
60代	女性	県南地域	アウトレットをはじめ、阿見は大型店舗が多くなり、阿見町としての商店街がない。個人商店がこれからどうすべきか、町民も一緒に考える必要があると思う。農協のやる気のなさも問題で、新鮮で安い商品を提供する気が見えない。高いけど新鮮では、安い大型店へ行く。
60代	女性	県南地域	中心市街地活性化の考えを活かし、外へ移してしまった公共施設を耐震化などと抱き合わせて機会を見ながら中心市街区に戻したらと考える。これから益々高齢化が進むと郊外の大型店には行けない人が増えるので、住宅街にある商店が必要になる事は間違いない。若い人に仕事を与えられないのは大人の責任(勿論行政も)。将来に希望を持てる若者を育てたい。
60代	女性	県南地域	学校教育では普通小学校に発達障害児が在籍しているが、その児童への専門的かかわりや親のニーズに応えられていない学校がある。商店が集合して大スーパーになり、住居のそばで日常生活に必要な買物が出来ないの、コンビニ弁当で済ませる生活になった。コミュニティの場としての身近な商店が必要である。幼稚園、保育園の無料化こそ将来の日本を育てることにつながる。
60代	女性	県西地域	人口の減少は大きな問題であると思える。安心して子供を産み育てることができるよう、茨城独自の子育てで応援があつても良いのではないかと思う。
60代	女性	県西地域	医者不足のため病院が立ち行かない。緊急医療専門医の配備が急務である。また商店街が軒並みシャッターを下ろし、活力がない。
60代	女性	県西地域	バイパスに大型スーパーなどが進出し、商店街にシャッターが降りている状態。
60代	男性	県北地域	小中学校生徒の減少により、学校の統廃合、高校の存続の問題等適正化。企業誘致で若者の働けるまちに、田舎暮らし等で都会からの移住者の促進を願う。
60代	男性	県北地域	県北地域の医療対策への取組みを望みます。
60代	男性	県北地域	児童・生徒の減少。集団教育が出来ない。市立病院の経営悪化と医師不足。急患の受け入れ体制が整っていない。

年代	性別	地域	地域の具体的な問題
60代	男性	県北地域	働く職場がない。若者は都市、町村外へ。過疎化となり子どもがおらず小学校が廃校。若者がいない事により少子化以前の問題。老人比率が増え、母子家庭の増加により町財政を圧迫している。県民税、町民税、健康保険・介護保険税など、特に年金暮らしの者には今の時点で限界があるので一考願いたい。
60代	男性	県北地域	若者が自宅にこもって就業活動ができない、しない、あきらめの状態。我が街の商店街も大手に左右されない商業地域作りが必要。地場産業の振興と育成、世界へのマーケティングの支援、育成必要。
60代	男性	県北地域	魚市場に来る観光客の車で市内の人は車で出かけられなくなる。
60代	男性	県北地域	空地は不要なゴミ捨て場となっている。地主は東京在住の外国人。役所は「所有者管理」と言われるが現実は無理。
60代	男性	県北地域	老老介護世帯が急激に増えている。大型店の進出で地元企業(商店街)は成り立たない。
60代	男性	県央地域	人家の近くに山林がある所が多く、見えない所にいろんなものを不法投棄されてしまう。老後自分で車が運転できなくなった時に、買い物をもどのようにしたら良いのか考えてしまう。
60代	男性	県央地域	合併時のしがらみが解決できていない。残念です。
60代	男性	県央地域	57世帯の町内には、小学生の子供が数名しかいない。老人の死亡や介護施設への転出などに、空き家が年々数を増している。空き家には親族も住まない、不動産業者への登録もしない常態のままのケースが多い。防犯、防災上心配である。空き家を有効活用する手立てはないのか。地域で談話活動の拠点にするとか、空き家の情報を集めて広報するシステム作りとか、何か対策が必要である。我が町内だけでなく、随所に空き家が見られるこの頃である。
60代	男性	県央地域	ポイ捨て、田・畑が汚れる。危険。
60代	男性	県央地域	水戸の駅前から大工町間特別地区として交通巡視員が違法駐車を取り締まっているが、本当に必要があるのだろうか。車社会にあって強いて申せば、税金を使って大型ショッピングセンターへ導かせている。
60代	男性	県央地域	茨城空港の開港は嬉しい事ですが、近接にある小学校は新しい滑走路が210m近くなったため、騒音は想像を絶します(飛行機の再編も一因)。賑わいの創設という事でサッカー場の建設を進めるようですが将来的に大きな不安要因です。
60代	男性	鹿行地域	医療機関の新設か、現在の民間病院のレベルアップ・充実(心臓呼吸など外科なし)。魅力ある活気ある町づくりとして観光に力を入れる。
60代	男性	鹿行地域	下水処理場を早期に実現してほしい。子どもが少なく、小学校では運動会などの種目が出来ない。
60代	男性	県南地域	高齢者社会は一年毎に進んでいくので、道路整備においても歩道のフラット、段差のないバリアフリー推進は必要である。
60代	男性	県南地域	働く場なく家計収入が圧迫され、これが原因で全て悪い方へのスパイラルに入っている。
60代	男性	県南地域	行政はすでに倒産しているので全て自分の事は自身での方向で進めている。バベルの塔の事務では一般社会の人の事はわからない。血液が流れていません。
60代	男性	県南地域	平成の市町村合併による住民サービスの低下がひどい。学校教育が費用負担大となる事から一校へ集中合併され、生徒の心が荒れている。病院の診療科目が年々減り、ホームドクター作りが困難である。
60代	男性	県南地域	高齢者の活躍の場や生産活動の場がない。
60代	男性	県南地域	公共交通が貧弱で将来が不安である。
60代	男性	県南地域	重税。少ない年金において国民健康保険、固定資産税、住民税、消費税などの出費が多すぎる。安心できない行政、一方、ばらまき行政に我慢できない。
60代	男性	県南地域	21世紀に生きてゆく若者達が「夢」を実現できる学力を十分に定着させる事を優先に考える。
60代	男性	県南地域	犯罪については便利な地域では身近な町内会で毎日のように発生しています。防犯パトロールをはじめあいさつをしながら情報交換をしています。子ども会の弱体化が進んでいます。子どもは財産ですので地域での支援が大切と思います。
60代	男性	県南地域	町内および町の活性化が喪失しつつある。
60代	男性	県西地域	後継者(事業者の)不足。景気対策。

年代	性別	地域	地域の具体的な問題
60代	男性	県西地域	高齢化が益々増加する中で地域に密着して生活していく事が重要。地域で生きるためには商店街が元気になり住民に身近な提供をしてくれる事が大で、そこが欠けている。
60代	男性	県西地域	超大型産業廃棄物処理施設建設が不動産業者によって密やかに進められていました。県は簡単に開発許可を出さないでいただきたい。近くでは農業用産廃施設の悪臭で周辺住民が救急車で病院に運ばれた事件があったばかりです。大変心配です。
60代	男性	県西地域	市民病院の存続と充実。町内の活性化が望まれる。
60代	男性	県西地域	市民病院の存立は公立で行なうべきである。
60代	男性	県西地域	学校教育にマナー教育を取入れる道徳時間を設定する。高齢者介護に関する事については、すべて補助を出す。
60代	男性	県西地域	若い学卒の就労が今後問題となるので、安定した職場の確保を望む。高齢者(退職者)が若い者を助けるような生活ではおかしい。
60代	男性	県西地域	介護医療料金が生活費を圧迫している。道路や山林への不法投棄が増えているモラル低下している。
60代	男性	県西地域	少子化が社会保障制度にかかわる事態になることは理解できますが、だから産みなさいではなく、色々な事を前提に社会保障を支える工夫をすれば良いと思います。
70代以上	女性	県北地域	大きな企業の経営不振で町全体が弱体化の傾向が見られる。マンションが多くなり地域や隣人のつながりが希薄になっている(募金や会費などが集まらなくなっている)。
70代以上	女性	県央地域	ゴミ問題は分別が基本ですが、そのためには住民が前向きに動く事が。地域医療では、かかりつけの医と大きな総合病院の必要性あり。
70代以上	女性	県央地域	共働きが多いため、高齢者を施設に入居させるのに空き順番待ちと聞きます(安き金額の施設は特に)。農村の長男は結婚したくても相手が見つからない。
70代以上	女性	県南地域	合併による統合によって小学校の統廃合が大きな問題。農業従事する家族の後継者問題と未婚者の問題。
70代以上	女性	県南地域	霞ヶ浦の水質浄化にむけては住民の努力も大変なものになってきている。
70代以上	女性	県西地域	学校教育学力が低下しているのもっと児童・生徒の学力向上をしてほしい。商店街の道路を広げてきれいになったが、人の通りが少なく、空洞化が進んでいる。対策を考えているのだろうか。
70代以上	男性	県北地域	企業の倒産、撤退、商店街の無人化などにより、高卒者などの流出や少子高齢化により、また、財政再建による各種サービスの削減により、元気のない街になりつつある。
70代以上	男性	県北地域	工専地内企業による悪臭・大気汚染。不法投棄する低モラルの人が茨城県には多い。耐震構造への改善の遅れ。スーパーその他による商店の閉店、活力向上策が必要。
70代以上	男性	県北地域	大型店の進出により、元々の商店がなくなり、地元の店が姿を消している。
70代以上	男性	県北地域	不法投棄は監視の強化と厳罰化が必要。
70代以上	男性	県北地域	低料金の介護施設が不足している。救急患者を収容しても受入れ病院が少なく長時間を要している。中心商店街が戸締め状況になっている。
70代以上	男性	県北地域	現在、失業者が多くて仕事がないから生活が大変であると言っている。我が市は人口が減っているのでも市内が少し淋しく、駅前に食料品店がないので市民は困ると言っている。
70代以上	男性	県北地域	80世帯の宿場町として明治から栄えた集落も小中学生を持つ家族は4世帯のみとなる。空家が多くなり高齢者の一人暮らしが年々増加。高齢者夫婦世帯も減少傾向にある。俗に言う限界集落のモデルとなっている。農業従事者は高齢化で後継者がいない。ほとんどが65歳以上の従事者である。10年後は4世帯が残るだけで廃屋の減出が待っている。都市との交流で従事者を募りたいが得策乏しい。
70代以上	男性	県央地域	交通の便利なところに客が多く集まり利用する。
70代以上	男性	県央地域	自然の保護をもっと真剣に考える。高齢者介護の施設を増やし充実させる。
70代以上	男性	県央地域	きちんとしたしつけを家庭教育で受けていない。警察の数の不足と思うが治安が悪くなっている。少子化は、家庭の絆、子育ての重要性を認識させる事が重要。
70代以上	男性	県央地域	高齢者世帯の老々介護。独居高齢者と地域社会との関わりが問題。働く女性のための病児保育、夜間保育を望む。
70代以上	男性	県南地域	地域にも外で遊んでいる子供の姿を見る事が少ない。

年代	性別	地域	地域の具体的な問題
70代以上	男性	県南地域	子供から学校を奪っている。学校の統廃合が地域の実態を無視して、住民の願いを無視して進められている。医師不足の対策を。
70代以上	男性	県南地域	多様化した社会にあったゴミ収集を望む(例えば、午前8時にゴミを出すことなど誠にナンセンス。特に勤め人家族ではそんなこと出来ない。そのためコンビニなどに被害が及ぶ)。学校教育に現在社会の親がコンプライアンス低下で学校が困っている。子どもの教育より保護者の教育が先決と思われる。
70代以上	男性	県南地域	生活関連の店がこの地区に10店程はあったので便利な生活ができたが、今はこれらの店はすべて消えた。大きな店が遠方に来たが不便である。
70代以上	男性	県南地域	高齢化が進み高齢者世帯あるいは住まなくなった住宅の放置が目立つ。
70代以上	男性	県南地域	不法投棄や落書きが目立ち恥ずかしい。市民教育を見直してほしい。大型店やコンビニは確かに便利だが夜型人間が増殖し犯罪につながるので深夜営業などやめた方がよい。
70代以上	男性	県南地域	昭和40年代に造成された団地で現在高齢化率が30%超。空家・空地対策と町の活性化そして高齢者の急増による買物などショッピングの問題解決が必要。
70代以上	男性	県南地域	公共事業の根本的な見直しが始まったようですが、私の住む地区の国道で一部区域で大変危険な箇所があります。今回の国の見直しで凍結されないようお願いいたします。
70代以上	男性	県南地域	ゴミ区別をもっと細かく選別をした方がよい。高齢者介護、後期高齢者にもっと力を入れてもらいたいです。後期高齢者は車運転は不可能に近いため病院に行くタクシーを市で負担する。
70代以上	男性	県西地域	産科医の減少が心配。従来の商店街の空洞化は昔の殿様商法の結果で当然で、大店舗に対抗できる人材が商店主なればよい。
70代以上	男性	県西地域	地域住民参加の住み良いまちづくりの推進を図る。結婚支援は少子化対策の最重要課題として取り組む。
70代以上	男性	県西地域	高齢者の文化活動が少ない。町に設備が無い上、指導者が居ない。スポーツをやっている人は多いが、それが出来ない人に陶芸や絵画、書、写真などやりたい人が多い。
70代以上	男性	県西地域	不法投棄が目立つ。それは休耕地が多く、そこが投棄場所に。都市開発が活発なことは良いが、有料農地が住宅化し、旧市街が空洞化。
70代以上	男性	県西地域	耕作放棄地の対策。

将来の街づくりに望む施策について

年代	性別	地域	将来の街づくりに望む施策について
30代	女性	県南地域	子育てのしやすい社会にするには、啓蒙が必要。どの人にも産休&育児を！安心して子連れで出かけられる社会に(専業主婦で子育てに専念すればよいという考えを払拭できるよ)。オムツ替え台授乳室は女性だけに限定せず、子連れでできる講座(公民館等)も増やす。
40代	女性	県北地域	医療費、教育費は無料が理想です。そのためには消費税が上がっても良い。
40代	女性	県北地域	夜間に可能な施策。住民がわかりやすく、引越してきても困らない、ゴミ処理の場。
40代	女性	県央地域	保育園や学童保育は、日曜日や時間も7時から20時位までの柔軟な対応を望む。学力に合わせて、上の学年へ進級できるシステムにしてほしい。ゲームセンターなどでパチンコや賭け事を連想するようなものは置かないでほしい。パチンコや場外馬券場を風気を乱すので無くしてほしい。
40代	女性	鹿行地域	湖があつたり自然がたくさんある地域なので、そして都心からも比較的近いので、リゾートややすらぎ、休暇をのんびり過ごせる所、のようなコンセプトで施設(大規模な)が出来ないのかなと思います。
40代	女性	県南地域	企業を誘致して就職率を高める。安くて安全な居住地を提供する。専門分野に秀でた農業、漁業、建設業などのプロを育てる学校をつくる。
40代	女性	県西地域	介護ヘルパーの育成確保と待遇改善についての支援強化。
40代	男性	鹿行地域	市が元気になれるように様々な産業活動を推進し、教育や子育ての環境整備をしっかりとやっていく事で、他が自然に活発になれるまちが出来あがると思う。
50代	女性	県北地域	小さな町でも安心して生活できる環境がほしいです(日常生活の買物、医療、子ども達の教育)。
50代	女性	県北地域	希少生物、植物(スカシユリ、オオウメガサソウ、ヒノマイトトンボなど)が守られる環境づくり。市民活動に仕事をもっている人も係われるようなワークライフバランスを目指した就労時間短縮やワークシェアリング、それへの財政的支援策も。
50代	女性	県央地域	まちなかを歩いて買物ができること。子供は「地域の子」として育つよう目をかけ、声を掛け合う温かな地域づくり。
50代	女性	鹿行地域	道路に車中からのポイ捨て、ドキッとするような看板の設置等etc。
50代	女性	県西地域	日野自動車誘致。圏央道開通。
50代	女性	県西地域	高齢者が道を歩ける町。日々の買物に自家用車で行っているが、歩いていくか公共交通を利用して買物に行ける町。そのために、安全な歩道や利用可能な便利な交通機関がほしい。
50代	男性	鹿行地域	子どもは平等に教育を受ける権利があのに、市内小中高での情報教育の遅れがあります。
50代	男性	鹿行地域	地域の課題のかなりの部分が解決される可能性があるので、小学校区単位のコミュニティー再生を最低限の財政的な支援を行い推進すべき。学力偏重の視点を改め、次世代を担う気概を持つ教育の再構築。
50代	男性	県南地域	全体が関連して2つに限定して選べない。つくば市側にある牛久沼畔の龍ヶ崎市の土地をつくば市へ編入移管してほしい。牛久沼の下流部の護岸対策。TXを石岡に継ぎ水戸へ結び、茨城空港へのアクセスの利便性を高める
50代	男性	県南地域	「協働まちづくり」によるまちづくり。
50代	男性	県西地域	高齢者の医者にかからない健康増進の施策。子ども達の心の教育(例:もっと自然と触れ合い心を育てる)。
60代	女性	県央地域	知識レベルを知るためにも、子供達がいつでも学習できる市立図書館の建設を(現在は公民館の中に図書館)。
60代	女性	県央地域	高齢者が日常生活を安心して暮すために、小回りのきく小型バスの活用し、大通りではなく裏通りの運行が必要と感じます。これにより人の動きが活きてくるように感じます(例:東京の浅草のバス)。
60代	女性	県南地域	アウトレットのような外から多くの人が入ってくる場所の近くに、近郊の農産物を売る直売所を作るなどにより、地域の特徴を出すことも必要だと思います。
60代	女性	県南地域	新築の家には必ず太陽光パネルを設置し、経済的負担もあるので、まずは企業、公共施設が見本を示し、一般家庭には、国や県の補助で普及を図り、環境保全のまちづくりを考える。
60代	女性	県南地域	障害者への理解のためのパンフ配布。幼児教育の無料化。
60代	女性	県西地域	高速道路早期実現を願う。

年代	性別	地域	将来の街づくりに望む施策について
60代	男性	県北地域	職業(仕事), 子育て, 教育の安心。活発なまちづくりについて, 町行政を中心に重点策を進める。
60代	男性	県北地域	工業団地(県公社)への企業誘致, 効用の促進。天心美術館の更なるPRなど交流人口の増加。
60代	男性	県北地域	長野県小布施のような文化や癒しを発信する街づくりを望む。
60代	男性	県北地域	市民活動(ボランティアなど)の活発化により行政で手の届かない分野に手が届くと思われる。
60代	男性	県央地域	年をとってきて車を運転できなくなった時に買物へ行く交通手段が不便。できれば歩いて10分位でいけるスーパーなどが是非ほしい。
60代	男性	県央地域	個人情報保護の結果, 社保庁のずさんを生んだ。日本人は生まれたらパーマネントナンバーを有し, 医院情報・保険料納付記録などに勿論脱税防止にも利用すべき。
60代	男性	県央地域	子供や高齢者が趣味の活動や生涯学習等で活動する機会は公民館において充実してきたが, 町内の地域の人達との交流が不十分である。町内会で対策を立てればよいことであるが, 前段である平素からの対話が成立していないことが問題である。談話するだけの交流の場, いわゆるお茶飲み会ができる場が, 町内単位にあると, 地域の連帯感が飛躍的に高まると考える。
60代	男性	鹿行地域	子どもは学校から帰ったら近所で遊び, 家族が揃った時に両親と一緒に勉強をすることが望ましいと考えています。
60代	男性	県南地域	未来に向かって進むことは夢がある。「動く歩道」は将来のまちである。
60代	男性	県南地域	永久に表通りの街並みが変わらないような景観の保全。
60代	男性	県南地域	健康な高齢者の就業対策。
60代	男性	県南地域	税金など社会保障関係出費のいらぬ県。
60代	男性	県南地域	定年退職の年齢に達した者にはバスの無料券を配布する。路線バスの拡充をする。経費に関しては行政が負担する。
60代	男性	県南地域	21世紀は少子高齢化が進み労働力の減少に伴い外国人の方々「力」を借りなければなりません。そのためにはコミュニケーション能力の向上を図るべき。
60代	男性	県南地域	住宅地が塀などで囲まれておらずオープンガーデンとして整備されていること。
60代	男性	県西地域	廃校跡地, 施設をボランティア活動の場に。
60代	男性	県西地域	常総市では現在超大型産業廃棄物処理施設を民間で建設しようという動きがありますが, 一部の不動産業者が中心に進めようとしています。内容もはっきりせず, 大変困っています。一般市民の生活を守っていただきたい。県は簡単に開発許可を出さないでほしい。美しいまちづくりのためにも。
60代	男性	県西地域	住んでいる人々が強いつながり(市民活動)を持ち, 安心して生活できる環境をつくってほしい。街に生活のもとが備わった商店街をつくる。
60代	男性	県西地域	弱者(高齢者, 障害者, 子ども)に対して行政のサービス・施設の充実, そして一般市民がボランティア活動(マンパワー)と連携し, 安心で暮らせる共生社会を創造すべきである。
60代	男性	県西地域	市の中で豊かな観光ルートを仕上げて, 県内のコースに入る環境づくりが必要と思われる。特に国外の方々に教育, 子育ての環境の意見交換の場作り等はどうですか?
60代	男性	県西地域	ゆりかごから墓場まで暮らせる町。
60代	男性	県西地域	10年20年後の農地の荒廃を心配する。基盤整備されていない農地が問題。
60代	男性	県西地域	「ハイテク刑務所(PFI方式)で社会復帰をめざすまち」。結城市は東京圏とは近く, 国道, 鉄道が充実しているるのでハイテク刑務所を誘致して一つの町を造り, 人口増と経済効果を担う。
60代	男性	県西地域	地域にあった農業の保護。定年過ぎた(60歳以上)人を有効に利用すべき(半ボランティアにて)。
70代以上	女性	県央地域	交通のアクセスは人と人との交流の基本。合併してまち全体が遠くに見えるのではなく, もっと近づくためにも交流のもてるアクセスを。
70代以上	女性	県央地域	山には不法投棄が多く見られます。各自が注意しましょう。ボランティアで里山ができたらずばらしいことだと思います。
70代以上	女性	県南地域	所々にゴミのポイ捨てが見られる(特に信号待ちの箇所)。バスの本数が減少し, 1日に2~3回。買物, 医者通いは自家用車に頼るしかない。

年代	性別	地域	将来の街づくりに望む施策について
70代以上	女性	県西地域	高齢者や障害者、子供達が安心して暮らせるまちづくり。各地区の保健センターや体育館等使用しないで空けている日が多すぎる。利用方法等もっと一般的に(だれでも利用してほしい)。
70代以上	男性	県北地域	少子高齢化対策。
70代以上	男性	県北地域	防犯のための監視カメラの設置。
70代以上	男性	県北地域	農業の振興。このままでは農業経営者は少なくなる。産業と関連付けて観光の推進が必要。
70代以上	男性	県北地域	県北生涯学習センターでかなり活動しているが、もっと民間人(市民)の活用を考えた町づくり。
70代以上	男性	県北地域	高萩市は駅前のお店が閉めた後を地主が駐車場にしているので駅前が淋しい町となっている。駅前に商店が出来れば良いと思う。しかし人口が少なくなっているのが難しいと思う。
70代以上	男性	県北地域	少人数グループが気軽に出来、最終活動分野に豊かに温まる人的交流を喜び合える集落に。助けられたり助けたりの間人集団の中で喜び合える生涯活動を楽しむ集落にしたい。
70代以上	男性	県央地域	総合的な文化施設の設置。
70代以上	男性	県南地域	学校教育の充実(少人数教育、教育の格差をなくすための施策)。
70代以上	男性	県南地域	常磐線の快速電車(青電)の土浦、水戸乗り入れの実現。
70代以上	男性	県南地域	自宅から商店へ、自宅から病院へと生活を守るための交通機関の充実。
70代以上	男性	県南地域	知能でなく技能に重点をおいた企業人材を育成する。人材がなければ企業は来てくれない。
70代以上	男性	県南地域	要援護者に対するバリアフリー化の整備。地域コミュニティの拡充。
70代以上	男性	県南地域	市内の地域をつなぐ交通網(公共)が少なく、地域交流が少なく、地域コミュニティが作りにくい。
70代以上	男性	県西地域	企業が集積していて活気あるまち。また、古い歴史や文化に、多くの人が訪れるまち。
70代以上	男性	県西地域	若い人が農業に喜んで働く環境作り。所得の確保～結婚できる所得へ。若手(子供を含む)の教育に重点を置く人づくり。
70代以上	男性	県西地域	ゴミのポイ捨て等については、依然として無くならないので、監視員制度をつくり、徹底的に取締る必要がある。
70代以上	男性	県西地域	長寿も死なないだけでは意味がない。安心して、活発に活動し、子や孫と共に未来志向で生活できる環境作り。生涯学習のハード、ソフトの充実。
70代以上	男性	県西地域	特徴を活かす店主の横連携は先決。ポイントを定めること。
70代以上	男性	県西地域	百姓が居なくなる。食糧の自給率云々ではすまない。

医療・福祉の分野

年代	性別	地域	医療・福祉の分野
30代	女性	県南地域	老人の医療費の値上げ(病状の軽いものを)。リスクの多い科やインターンとレジデント医師の待遇改善。
40代	女性	県北地域	夜6時以降の診察実施。産婦人科医の増加。
40代	女性	県央地域	横のつながりを大切にして、みんなで協力してほしい(ヘリコプターの貸し借りなど)。看護婦さんが子育てと仕事を両立できる環境づくり(週3日パートなど)。
40代	女性	県南地域	大きな病院の設立。
40代	女性	県南地域	病院にマイカーでなく定期バスを増設する。タクシー利用補助金。
40代	女性	県西地域	医師の増員。女性医師が復帰しやすい環境づくり。
40代	男性	鹿行地域	元気なお年寄り、病気になりにくい住民づくりに健康センター(プールやお風呂、娯楽など)作り。
40代	男性	鹿行地域	小児科医の確保。
40代	男性	県西地域	県立病院を筑西市内に設置する。
40代	男性	県西地域	生涯現役で働けるような元気な高齢者をめざす。
50代	女性	県北地域	県内につくば大学医学部があるのですから県内の各地に医者を配置できないのでしょうか。
50代	女性	県央地域	住民自らが健康は自ら守るという意識を持ち、行政のプログラムに積極的に参加する。
50代	女性	鹿行地域	医師の確保。
50代	女性		定着のために県内医大の新卒者に県内に研修を数年してもらうようにできないだろうか。
50代	男性	県北地域	現行の研修医制度の見直しと、診療所などの再建、福祉従事者の保障。
50代	男性	県南地域	高齢者をスポイルする介護・保険制度をチェンジする。産婦人科医の診察を充実し、子育て環境を整える。不妊治療、施設を増し、受診しやすくする。
60代	女性	県央地域	医師養成は1人10年位はかかるのでしょうか。高校選択の時から医学系の教育選択をしてはと思います。
60代	女性	県央地域	介護保険の更なる見直し、必要な人はしっかりと厚い介護を、介護度の軽い人には、なるべく自立してもらうためヘルパーに頼らない支援を。
60代	女性	県央地域	地域の人が助け合い不安のない町づくり。
60代	女性	県央地域	どんどん老人社会になっていく中で、介護施設、介護従事者の不足が心配。
60代	女性	県南地域	救急夜間も診る中型病院が必要。大病院と開業医のネットワーク化。待ち時間の短縮化。
60代	女性	県南地域	地域づくりに医療が深い連携を持つ。
60代	女性	県西地域	医療の充実をはかるための医師の確保。高齢者の施設の充実。
60代	男性	県北地域	北茨城市立総合病院を中心とした医療、福祉サービスの拡充。
60代	男性	県北地域	市立病院の建て替え。
60代	男性	県央地域	健康保険制度の見直し。
60代	男性	県央地域	周辺は医療機関(開業医も含む)があるので良い。
60代	男性	県央地域	病院の内科の教(医師)を増やす。近くに泌尿器科がない。
60代	男性	鹿行地域	公立の総合病院(鹿嶋の人は旭中央の労災病院に出かける)。
60代	男性	鹿行地域	高齢者の移動(足)の確保。今ある循環バスの増設。首都圏までいなくても一流医療が受診できる病院の確保。
60代	男性	県南地域	一元的な医療介護福祉。
60代	男性	県南地域	救急車が即発進できる医療体制。
60代	男性	県南地域	県立の特別養護施設。
60代	男性	県南地域	高齢者の方々に不安のない生活の保障を。
60代	男性	県南地域	従事者の教育機関の充実と待遇改善。
60代	男性	県南地域	信頼できる医師の確保。気軽に相談(健康など)できる体制。
60代	男性	県南地域	全国平均以上の医師数の確保をお願いする。
60代	男性	県南地域	地域医療の充実。
60代	男性	県南地域	隣接する県と提携し、土地の提供や資本の支出など大学病院や介護会社と協同参画する。
60代	男性	県西地域	安心して老後を迎えられる福祉医療。
60代	男性	県西地域	いざという時にどんな支援が受けられるか、という情報を常に広報する。
60代	男性	県西地域	医者の確保のため県立医科大学の創設。福祉の分野でのボランティア活動のマンパワーの充実と連携を。
60代	男性	県西地域	茨城大学に医学部創設。

年代	性別	地域	医療・福祉の分野
60代	男性	県西地域	医療機関の連帯組織を。
60代	男性	県西地域	介護を必要とする人が安価で入所できる施設を数多く。
60代	男性	県西地域	健康トレーニングセンター。
60代	男性	県西地域	産科医療機関と小児科の設置。
60代	男性	県西地域	総合医療の病院を建設する。個人病院を一括統合し、通院には今の坂東号を利用する。
60代	男性	県西地域	地域中核病院の充実。
70代以上	女性	県央地域	医療の充実を図るためには総合病院の建設。
70代以上	女性	県央地域	最近大きな病院、個人運営ホームが出来た事は大変良い。
70代以上	女性	県南地域	市内に総合病院が必要である。
70代以上	女性	県南地域	病院を住民は選ぶことができなくなる不安。
70代以上	女性	県西地域	市民病院の充実。安心してかかる医療機関であってほしい。毎日日替わりで先生がかわっているようなので。
70代以上	男性	県北地域	医療保険や介護保険が高く生活が苦しくなる。
70代以上	男性	県北地域	介護施設の充実のため、そこで働く人の労働条件の飛躍的向上。
70代以上	男性	県北地域	高萩市は現在は何んとかなっていると思う。
70代以上	男性	県北地域	病の治療は安心して医者に。心のケアは緻密な隣人の愛と真心で。
70代以上	男性	県央地域	医師の数を増やす。地方にも喜んで医師が行くような施策が必要。
70代以上	男性	県央地域	各分野の従事者の早急の養成。専門性の評価(経済的にも)と連携、相互理解。
70代以上	男性	県央地域	過剰診療・検査、過剰投薬の弊害も議論すべきである。
70代以上	男性	県南地域	ガンなど成人病について信頼できる医療施設の確立。
70代以上	男性	県南地域	健康であるための努力。
70代以上	男性	県南地域	公的医療機関の充実を図る。
70代以上	男性	県南地域	すべてを税金でまかなう時代は終りである。多くの人々がボランティア活動に参加し、健全で安心な町作りをすべきある。
70代以上	男性	県南地域	病院の充実。
70代以上	男性	県南地域	自ら出向けない人のため、受診に容易な方策。移動のため料金の安さ。
70代以上	男性	県南地域	身近な産院の充実が難しければ助産院を開設してほしい。
70代以上	男性	県南地域	老人人口の増加が見込まれ、福祉と医療の充実が必要。
70代以上	男性	県西地域	病院が少ないので、診療所の他に病院の新設を！

生活・環境の分野

年代	性別	地域	生活・環境の分野
30代	女性	県南地域	給食の残食が多く、家庭の食育も兼ねて親が給食指導に参加してはどうか。担任は10分位で大慌てでいつも食べて、仕事の時間にあててしまっているのでは・・・
40代	女性	県央地域	ゴミが多すぎるので企業も考えるべき。小学生のうちから授業で教えるべき(プラスチックなどずっと残ってしまいますなど)。ゴミ処理の仕方を低価格で環境に良い方法を選んでほしい。
40代	女性	県北地域	汚染のない安心。安全な暮らし。
40代	女性	県南地域	省エネに対する補助金を増やす。
40代	男性	鹿行地域	県でも行なっている地域の親などの充実。
40代	男性	県南地域	安物(100円)などに炭素税をかけるべき。
50代	女性	県北地域	違法伐採や不法投棄(他県からのものもある)を取り締まってほしい。
50代	女性	県北地域	自然を守るために海岸線の整備をコンクリートだらけにする事を考えてほしいです。
50代	女性	県央地域	環境の保護を維持するには、関心を持って行政の政策を見守り、参画して反映していく。
50代	女性	県央地域	シルバー人材やボランティアの活用(ただし無償ではなく少しの報酬を含むものに)。
50代	女性	鹿行地域	コミュニティ支援。
50代	女性	鹿行地域	自然環境保護にはゴミ問題からの解決であると思う。捨てずに資源へと考えるべき。
50代	男性	県北地域	過去の列島改造路線を見直し、保全事業の育成を。
50代	男性	県南地域	谷津田環境。水辺空間を大事にし、いたずらに残土埋め立てをさせない。
50代	男性	県西地域	ゴミ処理法を行政に全て委ねるのではなく、生ゴミなどは自分達で。
60代	女性	県央地域	AM9:00~PM15:00頃高齢者が外出しやすい小型バスで20分~30分間隔でめぬき通りでない小巡回バスがあると、車でなく自転車の人も利用するのは荷物が大変。
60代	女性	県央地域	悪質な訪問販売員などが来訪した場合、いち早く地域の人に知らせる連絡網などを作り、被害を拡大させないようにする。
60代	女性	県央地域	地域ごとのボランティアとして活動する団体を増やす。
60代	女性	県央地域	地域の人が助け合い不安のない町づくり。
60代	女性	県央地域	ゆったりといこいの場が身近にあると良いと思っています。
60代	女性	鹿行地域	水質検査など国の支払いで行なうべき。市民に負担をかけすぎる。
60代	女性	県南地域	環境を考えながら、やはり利便性なくしては人口が流出してしまう。
60代	女性	県南地域	公共交通機関の充実。
60代	女性	県南地域	土砂、不法投棄規制。計画的な開発。ある程度の個人土地利用の制限。
60代	女性	県西地域	自然環境の保護。開発ばかりでは空洞化になるので必要はない。
60代	男性	県北地域	交通渋滞の解消。バイパスの早期開通。
60代	男性	県北地域	個人個人に改善を促す。
60代	男性	県北地域	市の保存(緑)地域や街路を地域ボランティア・小中高(ボランティアを教育の中に加える)などと一緒に活動し、市内に入ったらあっと驚くような緑・花いっぱい街にしたい。
60代	男性	県北地域	不法投棄は罰則で押えるのではなく、地域住民のコミュニケーションと考える。
60代	男性	県北地域	保水域は河川の浄化のため県行林や国有林に広葉樹の植栽を。全県的に主要道路での不法投棄を県助成のもとシルバー人材センターなどを活用し、年間を通して片付ける。
60代	男性	県北地域	豊かな自然環境を生かした観光行政の拡充。
60代	男性	県央地域	知足の精神。
60代	男性	県央地域	地方道の整備。
60代	男性	県央地域	つくば市のように街の理念が明確であれば、個人も企業も建物を造るときに理念をもとに特徴的に設計する。街の理念が抽象的で無いに等しいときは、マチマチな建て方になり行政への協力も少なくなる。・都市部の迷路状の道路増加に改革の手を入れてほしい。
60代	男性	県央地域	農家と一般住宅の混住化が進み、環境の変化が早い。
60代	男性	鹿行地域	自然を残したい。霞ヶ浦、北浦の浄化。
60代	男性	鹿行地域	地域の美化活動にボランティア活用。地域の協力を得て、積極的に地域にボランティアの参加を申し込む。
60代	男性	鹿行地域	夜間照明の運動場を造り、各家庭の体育が楽しめるように(卓球やテニス)。
60代	男性	県南地域	河川への生活雑排水のたれ流しの全面禁止(農業用水路を含んだ)。

年代	性別	地域	生活・環境の分野
60代	男性	県南地域	下水道整備の推進。
60代	男性	県南地域	健康で文化的な生活が誰にでもできる事を期待したい。
60代	男性	県南地域	現状を保つと共に自然エネルギー活用の一つとして、公共施設にはソーラーシステムの義務化は？
60代	男性	県南地域	公害のない街(電気自動車の推進)、高圧線のない街。
60代	男性	県南地域	高齢者の生活支援(ボランティア活動)と技能を有する高齢者の人材発掘とネットワーク。それぞれの分野で抱える課題に対し、すべて行政が困難。市民提案型による協働事業を推進していく。
60代	男性	県南地域	ゴミの減量とリサイクルの推進4R。
60代	男性	県南地域	農業の再生で荒地をなくす行政。
60代	男性	県西地域	各地区での代表者の会合ができる環境造り。
60代	男性	県西地域	ゴミの分別がいい加減になってきている(それでも業者は持って行く不思議)。
60代	男性	県西地域	ゴミのポイ捨てや産業廃棄物のないきれいなまちづくり。
60代	男性	県西地域	産廃一時置場の取締り強化。
60代	男性	県西地域	自然環境の保護を中心に開発を行なう。
60代	男性	県西地域	就労環境の整備。ワークライフバランスの考え方を浸透させる。
60代	男性	県西地域	小規模焼却、家畜糞尿の廃止を推進する仕組みづくり。
60代	男性	県西地域	商店街の活性化。
60代	男性	県西地域	近くに働ける企業をおく。
60代	男性	県西地域	未合併市町村の合併。
70代以上	女性	県央地域	新築の家が多くなり、水洗トイレが多くなり、下水道の充実が必要。
70代以上	女性	県央地域	住んで良かったまちづくりのためには行政と住民が一体になること。
70代以上	女性	県南地域	住民参加を大切に。開発事業への環境アセスメントの重要性を認識する。
70代以上	女性	県南地域	道路のポイ捨てが多い。目を覆いたくなるような箇所が見られる。行政の目の向け方と市民の道徳性の高揚、定期的な清掃活動。
70代以上	女性	県西地域	安心して生活できるまち。ずっと環境に優しいまちであってほしい。
70代以上	男性	県北地域	思いやりのある助け合いが定着している集落に。
70代以上	男性	県北地域	車がなければ病院、買い物にも行けない。公共のバスがない。
70代以上	男性	県北地域	ゴミを出さない4Rの徹底実行の行政の熟考ある取り組み。
70代以上	男性	県北地域	全国でも高齢者が多くなっている。我が地域でもボランティアが色々やっているから良いと思う。
70代以上	男性	県北地域	地域温暖化の及ぼす影響について積極的な情報の提供。
70代以上	男性	県北地域	平地林の整備。
70代以上	男性	県央地域	環境浄化の意識と行動。禁煙、特に若い女性と若年者の禁煙教育。タバコ税増税。
70代以上	男性	県央地域	地域住民の人間のつき合いを活発化する事が重要。住民の意識改革。
70代以上	男性	県央地域	ボランティアの力を借りること。
70代以上	男性	鹿行地域	農産物は品質も良いが、残念なことに値が高い(産地直売所はひどい。要再考)消費者サイドから見た商品の売り方が下手だ。
70代以上	男性	県南地域	自分達のことは自ら進んで行なうようなインセンティブも加えた方法。
70代以上	男性	県南地域	市民が積極的に参加できるようなまち。お互いに助け合いながら感謝しながら生きられるまち。
70代以上	男性	県南地域	商業・小売業の深夜営業を減らし省エネと犯罪防止をしてほしい。
70代以上	男性	県南地域	すべてを税金でまかなう時代は終りである。多くの人々がボランティア活動に参加し、健全で安心な町作りをすべきある。
70代以上	男性	県南地域	隣近所が仲良く暮らすコミュニティの推進。
70代以上	男性	県南地域	とにかく鉄道(常磐線)などのアクセス充実です。
70代以上	男性	県南地域	ボランティア活動を活発にするため指導者の養成を図る。
70代以上	男性	県西地域	果樹垣根等の剪定後の枝葉の野焼きができるように。
70代以上	男性	県西地域	高齢者のボランティアを積極的に活用せよ！
70代以上	男性	県西地域	誰もが結婚できる社会環境づくり。
70代以上	男性	県西地域	リサイクルの明確化と実施方法と実行を数値化する。目に見えわかる方法。

教育・文化の分野

年代	性別	地域	教育・文化の分野
30代	女性	県北地域	開かれた学校と地域社会との連携でみんなで子どもを育てる。
30代	女性	県南地域	学校側、先生側の仕事が多く、ゆとりがなく休み時間に子供達とほとんど遊べないので、先生方にゆとりを持たせてほしい。民間から人材をもっと起用するか、講師を置いて宿題等みれるように。体力低下が著しく外遊び体ほぐし運動が重要(児童、生徒)。
40代	女性	県北地域	住民が生きがいを持てる生涯学習。
40代	女性	県北地域	歴史・文化芸術に興味を持つ機会を、幼児期から増やしてほしい。
40代	女性	県北地域	親の収入に関係なく質の高い教育を受けられる事が未来の日本には必要だと思います。今は以前より義務教育に力を国として入れていないように思えます。
40代	女性	県北地域	ある程度出来ればどんどん上の学年へ進めて個性を伸ばしてほしい。スポーツや音楽や芸術の分野に税金を使い個性を伸ばしてほしい。
40代	女性	県南地域	就学を終えた若者が東京他県に流出しないよう県内で働けるよう対策を考える。
40代	男性	県央地域	一般のマナー作り。
40代	男性	鹿行地域	学校の整備。地域文化センターの活発な利用。
40代	男性	県南地域	教員の能力向上。
40代	男性	県西地域	中高一貫校の設立。
40代	男性	県西地域	まちの図書館建設。
40代	男性	県西地域	学校の統廃合を進め整備を充実させる。
50代	女性	県北地域	少子化がこのまま進むと小学校を中心とした地域のつながりが薄くなり心配です。
50代	女性	県北地域	学力、体力など子ども個人の能力を伸ばす場合は学校や塾やスポーツ少年団などにあるが、様々な人と生きる社会力、共感力を伸ばす場も必要だ。共感力づくりに演劇教室はどうか。1学級の人数を25人位にできないものか。
50代	女性	県北地域	子育て世代を団塊世代の活用が助ける場作り。シルバーセンターの活発化。
50代	女性	県北地域	まちの持っている教育・文化資産を維持し、次の世代につないで発展させていく。
50代	女性	鹿行地域	学力の向上だけでなく、生涯教育の充実。
50代	男性	県北地域	教育委員会だけでなく、官民併せた取組みを。
50代	男性	県南地域	地域人材の積極的活用とそのための支援および教育行政の強い姿勢。
50代	男性	県南地域	茨城からノーベル賞を！科学・技術教育の普及促進。地域理解を深めるために歴史編纂を推進。
50代	男性	県西地域	子どもの教育は、学校だけでなく地域や家族がもっと積極的に行うべき。
60代	女性	県北地域	授業で芸術関係が少なくなっているので、放課後、学童保育、中・高学年の情操教育はボランティアの力も必要。ある程度活動費用も必要かと。ボランティア離れも少なくなるのではと感じます。
60代	女性	県北地域	地域の人が助け合い不安のない町づくり。
60代	女性	県央地域	学童保育などの充実(ボランティアの養成などに力を入れる)。
60代	女性	県央地域	いくつかの町や村が合併したのだから、既存の施設を見直す方向性を。
60代	女性	県南地域	土日祝などにコミュニティーバスを市内観光使用に変えて、まず市民に自分の観光地を知ってもらう。
60代	女性	県南地域	個を大事にした教育、個を伸ばす教育の実践。
60代	女性	県西地域	安心して子育てができるよう環境を支援すれば、教育が成り立つのでは。教員の採用基準を改め立派な指導者を確保する。大成した人はどこかで良き指導者に出会っていると思います。学力を高めるには競争させることも大切ではないでしょうか。
60代	男性	県北地域	歴史や伝統ある文化、教育資産を活かした郷土教育。
60代	男性	県北地域	過疎地域の通学問題(特に高校生の交通対策)。
60代	男性	県北地域	30人学級の実施と教育者(先生)のレベルアップ。
60代	男性	県北地域	市内出身の芸術家(那波多目 功一さん(日本画家)など)に協力いただき、絵や音楽合唱など文化力を高める。
60代	男性	県北地域	一般の人達の生涯学習の充実を望みます。
60代	男性	県北地域	文化財は単に保護管理するのではなく、観光面などで活用すべし。

年代	性別	地域	教育・文化の分野
60代	男性	県北地域	現在の日本の子供は、先進国の中で最も甘やかされ、放任され、規律も身につかないまま育てられていると思う。そのような実態を捉えれば、義務教育で担任一人当たりの子供の人数はずっと減らすべきであろう。集団的な活動は、クラス合同で行えばよいのであるから、子供の数(学級人数)を減らす方向で。
60代	男性	県北地域	教育は基本であり地域社会を機能させる教育と研修体制。
60代	男性	県央地域	小中学校の充実とある程度の大きさ確保。
60代	男性	鹿行地域	子どものしつけは家庭と学校が協力して実施。
60代	男性	県南地域	年配者(経験者)が体験学習などを含めて支援する。
60代	男性	県南地域	英国や米国の英語圏の街並を再現して、英語学習の体験が身近にできるような施設作り。
60代	男性	県南地域	国際都市つくばを活かした国際交流促進。
60代	男性	県南地域	優秀な地域産業の人材を送り出す高度教育システムの確立。
60代	男性	県南地域	学校教育に人格の形成をお願いしたい。
60代	男性	県南地域	少人数による学校教育(落ちこぼれない教育)。
60代	男性	県南地域	子ども教育の充実のため学校と家庭が一体の活動を。
60代	男性	県南地域	地域の伝統行事の復活、伝承に資するイベントを開催し、地域住民のコミュニケーション促進と子ども達の自主性を身につけさせる事業の展開。
60代	男性	県西地域	地域の文化遺産を掘り起こしPRする。
60代	男性	県西地域	少子化をどのようにして対応するのか。
60代	男性	県西地域	親が責任をもって育てる事は大切です。お腹にいる時から親としてのあり方の指導に、力を入れてやっていただきたい。
60代	男性	県西地域	行政の積極的施設利用による勉強会設置。
60代	男性	県西地域	伝統文化の継承の確立を学校教育に取り入れる。
60代	男性	県西地域	生涯教育に力を入れ、この町で最後を迎える事。
60代	男性	県西地域	道徳教育の導入。週1日各学年、小～高校等。
60代	男性	県西地域	日本は教育への公的支出が少ない。経済的負担を軽減するために公費による支援拡充検討。
60代	男性	県西地域	外国人が安心する国際化と日本伝統文化を推進すべき。
70代以上	女性	県北地域	駐車場の広い大きな文化センターを作ってほしい。
70代以上	女性	県北地域	私の住んでいる地域では全家庭(子どものいない家庭でも)で年間PTA会を開いています。良い事だと思います。
70代以上	女性	県南地域	公民館活動、図書館、資料館などのPRが足りない。市民対象のイベントも推進したい(多く)。
70代以上	女性	県南地域	美術館も音楽ホールも他市まで出かけての文化は…
70代以上	女性	県西地域	学力低下をなんとか止めて、学力は学校と家庭で力を合わせて低下を防いでほしい。文化面の充実もしてほしい。
70代以上	男性	県北地域	高齢者が学びを通じて生きがいや健康でいられる行政策を。
70代以上	男性	県北地域	歴史的文化を大切にす策。人としての生き方を大切にする教育を重視。
70代以上	男性	県北地域	学力だけでなく、徳育、体育に長じた教育必要。
70代以上	男性	県北地域	生涯学習活動の見直しが必要。生涯学習センターの例を学ぶ必要がある(水戸、県央、県西、鹿行)。
70代以上	男性	県北地域	なんでもかんでも学校に押しつける風潮は良くない。教師は忙し過ぎる。
70代以上	男性	県北地域	若年者に対する麻薬対策、禁煙対策を。歴史や文化面で地域を理解する教育。
70代以上	男性	県北地域	信頼できる100年の計を自負できる指導者に接しられる世界。サロン町、気軽に話せる町。
70代以上	男性	県央地域	心の教育(お金だけが万能ではないことをよく知らせる)の充実。
70代以上	男性	県南地域	教育委員会が競争心の育成が必要だと。そのために小規模校をなくすとやっている様は大いなる懸念を持っている。
70代以上	男性	県南地域	すべてを税金でまかなう時代は終りである。多くの人々がボランティア活動に参加し、健全で安心な町作りをすべきある。
70代以上	男性	県南地域	子どもより保護者教育を考えてほしい。
70代以上	男性	県南地域	一律に高学歴を目指すのではなく身の丈に合わせた技能習得をさせたい。
70代以上	男性	県南地域	伝承文化への関心を高め参加させる方策。
70代以上	男性	県西地域	少子化の現在、人の教育は最重要課題。
70代以上	男性	県西地域	子供と高齢者が使える陶芸工房の設置を望む！
70代以上	男性	県西地域	学校職員の人事は細心の目配りを(親の勤める学校に子息が通学)。
70代以上	男性	県西地域	学校給食の地産地消。夏の高校野球を古河地区でも。

産業・経済の分野

年代	性別	地域	産業・経済の分野
30代	女性	県央地域	商店街が活気を取り戻すために個性のある店づくりを推進。
40代	女性	県北地域	工業の分野では多方面に努力がなされていると思いますが、農業の分野で世界にもっとアピールすると良いと思います。日本の農産物の味は世界一だと思います。
40代	女性	県西地域	企業誘致の推進。
40代	男性	鹿行地域	他県からの企業誘致(税金や土地を当初は下げてでも)。
40代	男性	県西地域	米作農家が米の販売収入で経費をまかなえるような体制に。
50代	女性	県北地域	大型店舗が現れては消え、地域の商店街は閉店したら戻りません。
50代	女性	県北地域	商店を営んでいた親が死んだ時、相続税などのため店舗を閉める場合が多い。商店を続けられるような何らかの策はないものか。
50代	女性	県央地域	企業の誘致と働く場所をもっと提供し活性化を図る。
50代	女性	鹿行地域	雇用の確保。
50代	男性	県北地域	職人の徒弟制度に補助金を。伝統的技能を守り先駆的技術の促進を。
50代	男性	県南地域	つくばを始め、県内の研究成果を活用し、イノベーションを進め、県内で起業化させる。日本一の農水産物のPR,耕作放棄地対策を進める。
50代	男性	県西地域	農業で生きられる経済的な支援。農が立ちゆかなければ国は減ぶ。
60代	女性	県央地域	工業団地へ企業誘致を推進。
60代	女性	県央地域	農業が中心であるので、農産物の全国アピールを。
60代	女性	県央地域	地域の人が助け合い不安のない町づくり。
60代	女性	鹿行地域	活気ある街づくり。日本は民間会社の力が強く、国が弱い。
60代	女性	県南地域	農業への就業が増加できる施設整備。
60代	女性	県南地域	賑わいある商店街を取り戻し、他にない地域産業を育てる工夫をしたい。
60代	女性	県南地域	雇用の促進。
60代	女性	県西地域	雇用の確保を図るため、企業に対する支援、農水業への支援を。
60代	男性	県北地域	県外からの進出企業に対し優遇措置を、操業中の企業に製品の活用など支援すべきでは。零細農家の農産物の販路を整備し収入確保を。
60代	男性	県北地域	第一次産業の活性化によるふるさと再生事業の拡充。
60代	男性	県北地域	新産業(企業流入)が望めない県北過疎地では農林業が再生できるべく農業特区的施策で、高齢者でも健康であればできるだけ条件整備を自然環境保護を一体で進めてはと考えます。産業のない所に人は定着できない。
60代	男性	県北地域	農林業の活性化対策。
60代	男性	県北地域	住民も利用しやすい商店街の復活。
60代	男性	県北地域	地域活性化のために企業(無公害)の誘致。
60代	男性	県央地域	中小企業があまりにも多い。関連する企業間を連携したり、同一敷地に合併するための資金面での支援など、行政機関が機能を発揮することはできないか。中小企業共倒れを防ぎ「共成長」を支援する手立てを講じてほしい。
60代	男性	鹿行地域	コンビナートの会社はもっと地元の若者にPRが必要(地元採用優先くらいしても良いのでは)。
60代	男性	県南地域	一極集中は避けて、地方へ「ヒト・モノ・カネ」が動くように工場などを移設する。
60代	男性	県南地域	大型店の排除、地域に商店街を。
60代	男性	県南地域	休耕田の利用！米の栽培技術、酒の醸造知識を持っていれば産業用アルコール(ガソリン)の生産が可能である。
60代	男性	県南地域	地域の雇用を確保する産業基盤の確立。
60代	男性	県南地域	我が市が活性化できるような、産業の振興を期待したい。
60代	男性	県南地域	廃校舎を利用した産業の誘致。
60代	男性	県南地域	大型店舗・SCの出現に伴う小型店舗の閉鎖を救済する。
60代	男性	県西地域	圏央道完成も間近。企業誘致も積極的に。
60代	男性	県西地域	地域の中小企業の育成。
60代	男性	県西地域	職のない人が就職できて健全な生活が送れるよう。雇用の確保。
60代	男性	県西地域	安全な農業の確立と共に自給率の確保のため特産品のアピールを高める(マスコミなど)。
60代	男性	県西地域	町の賑わいがほしいところであり、地域資源の乏しい所では規模の大きいソフト事業を導入したい(例:町一面のコスモス畑)。
60代	男性	県西地域	工業団地の空スペースを農業地として利用等。
60代	男性	県西地域	工業団地の整備をして企業の誘致を。
60代	男性	県西地域	近くに若者が働ける(安定した)場。

年代	性別	地域	産業・経済の分野
60代	男性	県西地域	準正規労働者が増加しているので、社会全体の問題として捉え、意識・制度改革を進め改善する。
60代	男性	県西地域	農業を保護すべき。地元産が一番安心。
70代以上	女性	県北地域	サラリーマンの市として、残業などができるよう企業の活性化を期待したい。
70代以上	女性	県央地域	雇用の確保を図るために経済効果を考えた産業を。
70代以上	女性	県央地域	農村地域でも大きなスーパー、コンビニが出来て大変便利になりました。
70代以上	女性	県南地域	まち全体の産業経済問題と、人が暮らすことの意味を区分けする。大型店の進出でまちの暮らしが壊れていく。生活空間のスラム化ばかり目立ってくる。
70代以上	女性	県西地域	産業・経済面もますます発展してほしい。
70代以上	男性	県北地域	環境ビジネスの強化・拡充。
70代以上	男性	県北地域	中小企業の対策。
70代以上	男性	県北地域	生活の最低保障ができる生産活動がある町。
70代以上	男性	県央地域	安心して働ける場所、待遇改善が必要。
70代以上	男性	県央地域	産業振興は農業に重点を置くべきである。
70代以上	男性	県央地域	地場産業の育成と連帯(地酒とその土地の旬の料理との組合せ、販売促進)。
70代以上	男性	県南地域	交通網の整備が単なる通過地にならないよう魅力ある街作りで企業誘致。
70代以上	男性	県南地域	教育、医療、交通が恵まれているので生産工場などを呼込む知恵が必要。
70代以上	男性	県南地域	農地の集約化と大規模農家、農業生産法人の支援による低コスト化。
70代以上	男性	県西地域	企業の誘致(日野自動車)。
70代以上	男性	県西地域	農業従事者の生活確保～所得の確保。
70代以上	男性	県西地域	農業・漁業だけでなく、工業企業の誘致を図り、町に職場を！
70代以上	男性	県西地域	耕作放棄地の有効活用を。

交通・情報の分野

年代	性別	地域	交通・情報の分野
40代	女性	県北地域	バス利用を促進し本数削減によって異動が難しくなるのを避ける。
40代	女性	県北地域	高台に住む高齢者が、車がなくても生活ができるように高台を小型バスが通り、しよっちゅう利用ができればうれしい。
40代	女性	県央地域	つくばエクスプレスを茨城空港までつなげて、物流の輸送に使用しても良いと思う。茨城空港をぜひ成功させていただきたいです。
40代	女性	県南地域	高速道路を急ピッチで完成させる(圏央道、東関道など)。
40代	男性	鹿行地域	高速道路よりは水戸、茨城空港、成田空港、東京を結ぶ電車の開通。
40代	男性	県南地域	スムーズな物流。
50代	女性	県北地域	街に観光などで滞留してもらえよう昔ながらの街並みを残して、歩いて街を楽しむ方向にできないか。
50代	女性	県央地域	私の市では街中での駐車ができず、車での買物は郊外へ流れ、中心商店街は空洞化しつつある。自動車に乗れない人達の買物は追いやられている。パークアンドライドシステムが出来たらよいと考えている。
50代	女性	県西地域	主婦、子供、高齢者が買物や、ボランティアやレクリエーションに安全に歩いて行けるような歩道の整備。
50代	男性	県北地域	もう今以上に移動のスピード化を必要としません。
50代	男性	県南地域	高齢者にとって住みやすい、町づくりと足の確保として公共交通システムの充実、防災ネットワークの確立。
60代	女性	県央地域	路線バスなどが廃止になった所の高齢者の足の確保(例:病院へ行く、または毎日の買物など)。
60代	女性	県央地域	JRとバス路線の連携が大変よくありません。特に夜の電車の到着時間とバスの発車時間が合わない。バス停に行くまでに、バスが発車し見送ることも度々。バスのお客が無いのも当たり前だと思います。検討すべき事と感じます。
60代	女性	県央地域	現在は車で生活ができるが、高齢となって運転できなくなった時の交通の便と乗降しやすいバスを望む。
60代	女性	鹿行地域	他県に比べて交通マナーが良くない。運転技術のみではなくマナーについても教えるべき。
60代	女性	県南地域	坂の多い町なので、市内全体に目的地に行ける交通手段として、乗合タクシーの補助券があれば、高齢者としてあまりIT偏重にならないでほしい。
60代	男性	県北地域	新たな発展が期待できるので、市街地から離れた地点に6号国道のバイパスを整備してほしい。
60代	男性	県北地域	高齢者が安心して利用できる乗合タクシーの導入。100円バスは不便。
60代	男性	県北地域	公共交通機関が減少していく中、自治体がもっともっと代替を考えるべき(料金徴収しても可)。
60代	男性	県央地域	バスはあるが本数が非常に少なく夜の便がない。
60代	男性	県央地域	子どもの携帯は親子間の通話のみの機能にすべし。
60代	男性	県央地域	コミュニティバス等で周辺住民が市中心地へ気軽に掛かけられると良いと思う。
60代	男性	県央地域	防災、交通安全、流通等を考えたとき、戦後間もない頃の基準は現状に即しないので幅4m道路の廃止を願う。新しく開発する道路は6m幅以上に！現状では車のすれ違いもできず、街に閉塞感が感じられる。
60代	男性	鹿行地域	道路は十分。一部の混雑は信号の改善優先で(時間配分、主要道では赤信号にかからない工夫、朝・昼夜で使い分けする信号の採用)。
60代	男性	県南地域	リアモーターの推進。電気自動車の促進。
60代	男性	県南地域	車社会を見直して、人、自転車最優先の道路にされたい。
60代	男性	県南地域	国道6号線を基幹道路とした場合、県内を通過する車、県内の工業地帯へ行く車に情報を提供するために一大ターミナルを作り、交通の整理を図る。
60代	男性	県南地域	公共交通(バス網)の充実。
60代	男性	県南地域	コミュニティバス活用促進。
60代	男性	県南地域	利便性のよいシステム(TX東京乗り入れ)、ギガネットを整備し危機管理システムの確立。
60代	男性	県南地域	日常生活において公的な交通機関のサービスの向上をお願いしたい。
60代	男性	県南地域	若草大橋との道路の早急な整備。
60代	男性	県南地域	TX鉄道の延伸はあるのか。新線が出来ても単に通過駅とさせないための仕掛けづくり。
60代	男性	県西地域	国道は制限速度すべて60km/Hとし、その道路整備を。

年代	性別	地域	交通・情報の分野
60代	男性	県西地域	TX鉄道の延伸はあるのか。
60代	男性	県西地域	情報伝達手段の整理。
60代	男性	県西地域	茨城空港のアクセスの充実と高速道路(インターチェンジ)周辺アクセスを。
60代	男性	県西地域	交通安全の基本的な指導と取締り。右・左折の方向指示をしない方多い(茨城全体)。
60代	男性	県西地域	道路を整備し流通の利便を企てる。
60代	男性	県西地域	生活道路の整備(ゆとり拡幅)。
60代	男性	県西地域	いつでも情報周知の対応できるよう広報・広聴を充実する。
70代以上	女性	県北地域	市内を回るバスを増やしたい。
70代以上	女性	県央地域	デマンド的な交通機関をつくり、誰もが交流できるまちを。
70代以上	女性	県央地域	車社会のため定期バス利用者が少ないので、バスの運行回数が少なくなった。運転出来ない人には大変不便です。
70代以上	女性	県南地域	私の地域は、車を持たないと、どこへも行けず何もできないので、老人は危険を承知で車を運転せざるを得ない状況にある。
70代以上	女性	県西地域	情報の交流もしっかりやってほしい。
70代以上	男性	県北地域	運転できる元気な高齢者が、そうでない高齢者を助けるシステムづくり。
70代以上	男性	県北地域	公共交通のあり方を検討する必要がある。
70代以上	男性	県北地域	交通は高速道路が無料となれば良くなると思う。
70代以上	男性	県北地域	高齢者に親切な施策。交通は市民バス, 市民タクシー。
70代以上	男性	県央地域	公共交通を見直す。
70代以上	男性	県央地域	環境に優しい交通機関の導入, 特に公共交通(例.電気自動車, 路面電車)。
70代以上	男性	鹿行地域	大消費地に情報発信としてのPR活動が不足していないか。
70代以上	男性	県南地域	高速道路を作った意味をよく考え, 人間の「心」の原点を忘れさせるような社会はいずれ衰退します。
70代以上	男性	県南地域	高速道路無料化はJRローカル線や私鉄の不採算廃線につながり交通弱者を生む。
70代以上	男性	県南地域	より利便性, 安全性のある乗り物の普及。
70代以上	男性	県南地域	県独自の排ガス規制の実施。
70代以上	男性	県南地域	市内の各地域間のバスルートの設置。
70代以上	男性	県西地域	情報公開。
70代以上	男性	県西地域	道路の長さでなく効率の良い道路を!
70代以上	男性	県西地域	公共交通機関の育成と充実を。
70代以上		県西地域	茨城空港への足がない(古河の場合)。

県行政に対する要望・意見

年代	性別	地域	県行政に対する要望・意見
30代	女性	県央地域	茨城の良い点のアピールが上手くできていないと思う。また車の交通マナーが悪い、ヤンキーが多い、街がきれいではない(ゴミが多い)など、他県の人から見た時に悪いイメージが大きい。このあたりを改善して茨城の良い点を上手く宣伝してほしい。
30代	女性	県南地域	非正規公務員に対する待遇の改善。
40代	女性	県北地域	茨城空港は私の周りの方々は、利用客が少ないので、あまり必要がないのではないかと思います。県は空港設備に至った説明が不足していると思います。もし失敗したら建設費に費やした私達の税金はどうになってしまうのでしょうか。今、空港建設はこの世の中の時代に逆らっているようにしか思えません。
40代	女性	県北地域	教育費の負担が少しでも軽くなるよう望みます。全ての子が自分の望む“教育”“仕事”をあきらめずに成長し、地域に貢献できる人材になればと思います。
40代	女性	県北地域	自然をあまりなくすと、カラス・鳥全般が屋根の上を飛び回り糞、いたずらなど嫌な思いをしています。高齢者になっても安心して暮らせる工夫や、行政からの援助を期待しています。今、新型インフルエンザなどの情報をこまめに流す必要があるのでは。生涯学習も定年後の生活にはメリハリがつきよいのでは。
40代	女性	県南地域	今、必須なのは(電車)交通の便の確保と、大きな病院の設立だと思われま
40代	女性	県南地域	市町村合併が行なわれて、周りを見渡せば旧市町村のまとまりが根強く、運動会、文化祭も広範囲すぎてまとまりません。市役所の仕事も各支所によってわかりづらく、とても遠く感じるがあります。
40代	男性	県北地域	財政力が厳しい中、次世代にその「ツケ」を回さないように費用対効果を十分に検証し、無駄をなくしながら将来の展望に期待の持てる施策を切望する。
40代	男性	県央地域	無駄遣いをしてほしくない。計画・目的のために税金を使ってほしい。
40代	男性	鹿行地域	子育てをしやすい環境を作り、人が増え、仕事も増える。
40代	男性	鹿行地域	老後の不安がないのであれば税金(働ける者)も高くなっても良いと思う。先が不透明だから不安になる。県民が幸福な顔で暮らせるように願いたい。
40代	男性	県南地域	茨城のポテンシャルを生かせ。他のマネはするな。金の上手な使い方茨城はNo.1になれる。国の補助金よりある金で何ができるか考える!!
50代	女性	県北地域	茨城県は大きな地震も台風襲来もなく、米、野菜などの農産物や水産物も豊かなため、穏やかな県民気質かと思えます。けれど、取り立てて不満・不安がないためか、自分より弱い立場の人へのまなざしに欠けている気がします。人権意識の啓発は必要だと思います。
50代	女性	県北地域	特に長期的な工事などの説明が不足しているように思えます。その都度どのような工事でのどの位の予算でと、文章でも良いので地元で説明していただきたいです。
50代	女性	県央地域	茨城空港の今後の採算への不安あり。見直し部分、撤廃も早く考えてよいのではないかと。
50代	女性	県央地域	行政はこのようなNeedsを、また表面には出ないNeedsをいかにくみ上げ、時代を先取りしていくことが強く望まれる。住んでみたい茨城をともに創っていききたい。
50代	女性	県西地域	痛みをわけあうのも大切だが、税金の使途も公平さを求める。県西は島国の感があり、あくまで県庁所在地は水戸であり活動での利便性を求めます。
50代	女性	県西地域	茨城県は農業、産業、商業、なんでもすばらしいものがいっぱいあるが、もっと県の独自性を発揮してもいいと思う。さまざまな個性が尊重される社会、認め合える社会を築いていくことかなと思う。
50代	男性	県北地域	我が県民は富裕を望み利便を追求し競争に勝ち残る事を欲しているのだろうか。
50代	男性	県央地域	最近、よく週末に常磐道を利用しますが、車の量が増えたのに驚いています。この人達は茨城のどこに行くのか、わかりません。茨城に風が吹いていると思います。この風をつかまえて下さい。
50代	男性	県南地域	「より良い町づくり」の一員として行動していこうと思っています。何事も「着実に実施していく事」をモットーに、多くの力を結集、協力していきたいと思

年代	性別	地域	県行政に対する要望・意見
50代	男性	県南地域	NPOなどについては積極的に支援・活用すべきと考えるが、現状においてはNPO制度が違った目的のために悪用されているケースがある。厳しいチェックをして、まともなNPOを育てたい。
50代	男性	県南地域	空港に来られる外国人が東京に行くのではなく、茨城県でお金を使うように観光資産(自然、古い農家)の充実を望みます。
50代	男性	県南地域	地域コミュニティーの核としての区会を行政情報、防犯・防災情報の発信源として利用し、情報ネットワークを作成してもらいたい。防災の観点から高齢独居者等の要救護者の情報を区会へ配付してもらいたい。
50代	男性	県西地域	首都東京に近い県として、この地を利用した特徴ある県政を期待します。具体的には観光などよりも経済活動を中心に。農業(生鮮農産物ブランド戦略)、工業(交通網を利用して企業誘致により雇用の創出)。
60代	女性	県央地域	かすみがうらの導水事業と茨城空港が円満にスムーズに運べるようにお祈りしています。
60代	女性	県央地域	財政難は当県だけではありませんが、県債発行と支払いの悪循環は良く考えてほしい。茨城空港も将来、財政的にとても不安だ。
60代	女性	県央地域	ボランティア活動と地域づくりの連携が少しずつ見えてきました。ただ県と市町村との連携はまだのように感じられます。
60代	女性	鹿行地域	県民との対話が少なすぎると思います。もっと暖かな心で県民が一番望んでいる行政とは何か、真剣に向き合ってもらいたいと強く感じています。
60代	女性	鹿行地域	県民の目線で、問題山積みの時代に入っている事を考えて、外へ出て県内をじっくり見て聞いて下さい。我慢強い人種の時代ではない。
60代	女性	県南地域	茨城県は災害も少なく、農作物も豊富、住んでみれば本当に良さがわかります。しかし、何かを変える事は消極的であり、一部閉鎖的な気がします。行政だけでは難しい所もあると思います。ぜひ、異業種の方々との話し合いの場を多く持っていただき、これからの県をどうするのか考えていく事も必要ではないのかと思っています。
60代	女性	県南地域	北関東道の早期全線開通を早く実現してほしい。茨城空港はなかなか営業が難しいと思うが、物流などでの営業を望む。
60代	女性	県南地域	県南の端に住んでいるので、車使用より二酸化炭素排出の少ない公共交通を使うためにも、水戸から直通普通電車の増発を望む。茨城空港は今後どうするつもりか。
60代	女性	県南地域	都心から近い割りに自然が豊かである。これを大切にしたい。
60代	女性	県西地域	未来を担う子供達を安心して産み育てることができるよう、行政面からも今まで以上に支援がほしいと思います。
60代	男性	県北地域	①地上デジタルTVなどの活用で広報の充実。②他県からの転入促進策で人口増を図る(東京地域などでの広報アピール、観光の宣伝など)。③安心、安全な県の具体的なアピールをしたらどうか。
60代	男性	県北地域	茨城空港については不安が残ります。先日の説明でもまずやるという事のみ全面に出て、机上の計画ばかりが先行しているような感じですが。どう考えても群馬、栃木の人達はそれぞれの新幹線で東京入して羽田、成田に行った方が便利である事は誰が見ても明らかだと存じます。一度歩みを止めて再考する事も一案ではないでしょうか。
60代	男性	県北地域	県財政の健全化のため公社・港湾出先機関の整理統合など。また県は無駄な経費も多い。ぜひ削減策を検討していただきたい。茨城空港ビルを公社で建設すると聞いたが大丈夫でしょうか。空港利用促進のため海外旅行者の受け入れを図るべき(特にアジア)。自然では見劣りするよう思います。科学城は優良工場の見学など、独自の観光ルートを開発することはできないか。
60代	男性	県北地域	県中央と県北山間地では立地条件が異なっている事を第一に考慮し、画一的ではなく条件を生かした政策と施策を構築されたいものであります。
60代	男性	県北地域	県北地域振興に期待します。
60代	男性	県北地域	住民の要望を十分に生かした行政の実施を是非お願いしたい。
60代	男性	県北地域	なんでもワーストに名前が出る茨城県を早急にベスト10に入るよう改善計画を提示し、実行するようにしてもらいたい。
60代	男性	県北地域	幅広い年齢層が安全安心快適に暮らせる県政を望みます。
60代	男性	県北地域	本県は全国でも上位の農業県であり、食の安全に連なる農産物の生産は重要であり、農業者(農家)の安定を図るため、農業・畜産の振興を更にお願したい。

年代	性別	地域	県行政に対する要望・意見
60代	男性	県央地域	「陸・海・空のネットワーク」というような違和感のあるアピールは、県行政と現実社会を遊離させることになる。県はもっと現実の情勢に立脚し、「希望」を抱かせるアピールを創立してほしい。それには日本有数の作物、道路総延長、持ち家数などの具体的な事実と併せてソフト面での未来を見据えた人的投資面でのアピールも大事にしてほしい。
60代	男性	県央地域	あまり「箱物行政」ではなく「心の充実」の行政を望みます。
60代	男性	県央地域	茨城空港の高度利用策と採算問題への対応。県有未利用地の早期解決策への対応。県のポジションを活かした魅力UP。
60代	男性	県央地域	県の行政について、県内隅々まで知らせる工夫を考えてほしい。県は何か文章やパンフレットを作成して市町村に配布していただいただけでは住民に徹底されていないようです。
60代	男性	県央地域	県北地域振興策に期待する。
60代	男性	県央地域	交通マナーの改善を要望したい。ウインカーランプが遅い、あげない。車間距離が取れていない。免許更新時に徹底してください。
60代	男性	県央地域	つくばを中心とした県南地区と水戸を中心とした県北地区では様々な格差が生じている。地域特性を活かし、この格差を埋める政策を行なってほしい。
60代	男性	県央地域	県広報誌「ひばり」毎号目を通しています。茨城県は各地域に特色があり、今後取り組まねばならない課題があると思う。地域としての良さを伸ばして発展させるため、各地域の県民の声を今まで以上に大切に行政にあたってほしい。
60代	男性	鹿行地域	茨城空港は採算がとれるのか？現時点ではっきりしていただきたい。
60代	男性	鹿行地域	今までは魅力に乏しい茨城だったと思う。ひたちなか海浜公園、那珂湊の魚市場、大洗水族館は良いが、交通渋滞でうんざり。近年、高速道路の充実と茨城空港とインフラは整ってきたので、茨城の自然と特産物、アウトレット、霞ヶ浦、鹿島灘、カシマスタジアム、北茨城の山村、溪流を観光名所にする工夫をして、魅力ある賑やかな茨城県づくりを望みます。
60代	男性	鹿行地域	活力が感じられない。特色、特徴など県民に訴えるものがない。県民に骨太のビジョンを与える必要があるのでは。
60代	男性	鹿行地域	東関東自動車道の開通を早急に進めてほしい。
60代	男性	県南地域	①行政コストの無駄削減を実現すること、新空港の建設・開港後の収支状況を逐一明らかにして、責任を明確にすることを望む。②もっと全国レベルでの露出を行ない他県との違いを、特性をアピールすべき。
60代	男性	県南地域	①児童・生徒の学力の向上(基礎学力の定着を十分に図る)。②教育格差の是正。③茨城空港は県民としては再考慮すべき。④高齢者の方の技術・技量を活かせる場の設定。
60代	男性	県南地域	ITを活用した県政改革、縦割り組織を廃止し、各部署が結集するネットワーク型組織にすべきである。
60代	男性	県南地域	茨城空港の開港を間近に控え大変不安に感じています。税金の無駄遣いになる可能性が高いのでは。成功させるために今どんな活動をしているのか見えてこないし、本当に採算があるのでしょうか。
60代	男性	県南地域	行財政の健全化。
60代	男性	県南地域	県広報誌の充実と情報公開。
60代	男性	県南地域	県内外に対するアピール度がいまいちのように見受けられます。地域によっては努力されている自治体もありますが、素晴らしい郷土を持ちながら活かされていない。地域活性化のため努力されている事と思いますが、一層の力点を望みます。
60代	男性	県南地域	県の行政サービスが何をやっているのか全く見えない！
60代	男性	県南地域	本県は気候などに恵まれています。首都よりも近く流通の便は良い地域ですが、農産物をはじめ産物について攻めのPRをしてはいかがでしょうか。
60代	男性	県西地域	①百里基地の民間機乗り入れに対して大反対です。すぐに中止してもらいたいです。理由は空港利用者が見込めるのかということです。県民の血税を大切に使うてもらいたいです。県の財政赤字をなくすようにしていただきたいです。②年度末になり予算が余れば、次年度へまわす事ができるようにしてほしい。健全な財政を是非考えていただきたいと思っています。
60代	男性	県西地域	茨城空港に伴い、観光地域のPR及びオープニングは各ボランティア団体の総動員で行う。
60代	男性	県西地域	限られた予算の中での運営ですので、ぜひ県民側の目線に立って優先順位をつけて実現していくべきと考えます。
60代	男性	県西地域	基幹産業である農業を基本として整備を進め、住宅や企業のバランスの良い配置。首都圏に近いので、流通拠点をおきたい。

年代	性別	地域	県行政に対する要望・意見
60代	男性	県西地域	県全体の行事、イベント等の情報が一般市民に伝達が少ないように思います。県の情報、各市町村の情報を分かりやすく県民に伝える事が出来ないか？
60代	男性	県西地域	県民300万人の行政は隅々まで大変な苦労があると思いますが、「県西地域に県政なし」と言われています。早急に筑西幹線道路の完成を実施願いたい。
60代	男性	県西地域	県民全体の意見をよく聞き、バランスのとれた行政をとっていただきたい。現状を捉えた施策も当然必要だが、将来を見据えた行政展開もとても大切な事と思っている。
60代	男性	県西地域	財政をきちっと。次世代に残さないように頼みます。
60代	男性	県西地域	自宅で家族の介護(高齢者、障害者など)している方への財政支援と介護の教育をすべきだと思います。介護される方も家庭が一番良いはずです。
60代	男性	県西地域	精神障害者の社会復帰施設の充実と法定雇用率1.8%の強化と共に公立の福祉工場の創立を希望します。
60代	男性	県西地域	都心に近く、自然環境も整い、県内農産物もたくさんあり、災害も少ないとても良い所だと思います。この良さをもっとアピールし、環境と物産の販売に力を入れ、県の特徴を県外へ発信してほしい。
60代	男性	県西地域	バランスある郷土茨城行政を希望します。高等教育がない県西へ、中核都市筑西市に大学がほしい。
60代	男性	県西地域	必要性、重要性を考えて道路などは着工したら早く完成させるように望む。優先順位的にして計画着工したものは早く仕上げる。無駄はできるだけなくすことを皆で進める。
70代以上	女性	県北地域	健康第一に職員の一人一人が責任を持って茨城県の発展のために活躍してほしいです。
70代以上	女性	県北地域	全国的に見ても茨城県の交通事故の多さは大変恥ずかしい事実です。県民性とはいえ、何とかマナーを良くし少しでも数字を下げたいものです。ドライバーの意識を高める方法はないのでしょうか。
70代以上	女性	県央地域	県内各地が上手くアクセスでき、つながりをもった茨城県づくりに取り組む事の必要性あり。高齢者の一人として安心して暮らせる茨城県に行政も住民も私達も協力していきたい。
70代以上	女性	県南地域	国・県・市町村にまたがる公共事業の立ち上げについては、慎重な審議を行ってほしい。県職員として担当課でしっかり学習してほしい。
70代以上	女性	県南地域	県の中心から遠く、過疎の地に住む者として、特に文化面で光が当てられないように思う。人が集まるイベント、みんなが生き生きと何かに向かって活動している、このような場がほしいし作りたい。
70代以上	女性	県西地域	今後ますます高齢化が進むと思いますが、高齢者の医療費等は増えていくと思います。今の高齢者の医療費負担は良いと思います。若い人達にこれ以上負担させることもなく、もっと高齢者もかかった医療費は支払うべきだと思います。
70代以上	男性	県北地域	①常陸那珂港の整備促進と物流の活性化に力を発揮してほしい。②水戸市を中心とする50万都市づくりへの具体案の策定を望む。
70代以上	男性	県北地域	赤字財政下における重点項目の年次計画の公表。総花的でなく単年で重点対策する(例:交通事故のワースト脱出のための諸施策を展開して1年で成果を上げるなど)。
70代以上	男性	県北地域	健康、医療関係の数値は全国平均値以下というワーストに入っている。医師の数値をみるとブービーメーカーになっている。日立市の居住者が出産する時は、水戸市やひたちなか市に行って出産している状況が続いている。
70代以上	男性	県北地域	情報の開示は、インターネット重視でなく、紙面や放送等で告示し意見を募集すべき。また、その意見を県民に知らせるべきである。住民のための行政機関としての公務員意識とサービス精神は高まってきているが、行政の具現化となると民意との格差が大きい。財政の無駄と思策の無駄を感じる。
70代以上	男性	県北地域	無駄をなくす対策が県民の眼に見えてこない。職員1人ひとりの行動が県民にそう見られる形・姿にして県民の協力を得るべきだ。二宮金次郎の精神である「積小為大」を実施すべし。

年代	性別	地域	県行政に対する要望・意見
70代以上	男性	県央地域	①生活習慣病の1つである動脈硬化性疾患に対する取組みは緊急の課題である。県民に対して、食生活改善教育が必要で、重要課題である。 ②県の観光について、本県は自然に恵まれて、数多くの食材がある。この食材を使った料理の研究と、地酒の組合せた研究を行って、宿泊しながら美しい自然を満喫できる「観光楽しみ県」できるのでは。 ③禁煙対策にもっと本腰を入れるべきである。特に若年者に対する禁煙教育および意識改革は不可欠である。
70代以上	男性	県央地域	茨城空港が開港されるとの事ですが、もっと各方面に乗り入れができるようにしないと、お客様の利用価値が少ないのではないのでしょうか。
70代以上	男性	県央地域	交通事故が多い、犯罪発生が多いというのが残念ながら茨城のイメージになっている。幸いつくば学園都市、東海村の原子力研究開発など科学技術施設を有している。他県に誇れるような「何か」を活かしたい。
70代以上	男性	県南地域	「南東北」と言われない県になってほしいです。常磐線にふさわしいダイヤ・サービスの充実、活性化をお願いします。
70代以上	男性	県南地域	インターネットによる好感度調査で全国調査で第47位とは残念の一語につきる。もっと全国に茨城県を発信してほしい(小・中の学力テストは35位)。
70代以上	男性	県南地域	元気な高齢者、特に男性の活用場を作る。地域の高齢者の集いでも女性用のプログラムは多いが、男性プログラムが少ない。独居老人はもちろん、高齢者夫婦の活動の場の提供に英知を傾けてほしいも、高齢者が自ら進んで計画を作れる場を作りたい。
70代以上	男性	県南地域	県主催の催しが県都中心に行なわれている事が多い。「時間と経費の関係から参加の気持ちがあっても参加できない」という声を多く聞く。改善されつつあるが、今後一層の努力をお願いしたい。
70代以上	男性	県南地域	県の財政悪化が進んでいるように思う。悪い点を洗い出して明らかにし、思い切った改革が必要であると思う。
70代以上	男性	県南地域	公共工事の一般競争入札を強く推し進めるべきである。談合の一扫をお願いしたい。
70代以上	男性	県南地域	高齢化が進んでいる。医療費を安くして安心して病院に行ける事、子供の声が町に響く町づくり。
70代以上	男性	県南地域	自動車道・港湾・航空・鉄道など一応の整備が出来または出来つつある。次は如何して付加価値をつけるかです。自然や科学技術で人々を呼び込む手段を考えたり、人材を育成し企業進出に魅力ある県にしたい。長期的に見れば安心して生み育てられる茨城とし全国から人を呼び込む。
70代以上	男性	県南地域	少子化対策でマリッジサポートが効果を上げているようですが、センターを拡充し各市町村に委託しては如何かと思う。
70代以上	男性	県南地域	老人人口が25%という高齢化が進み、福祉と医療の充実が特に重要と考えます。そのため自宅から商店へ、自宅から病院へのネットワークとして交通機関の充実が必要と考えます。
70代以上	男性	県西地域	県と市町村の事業の違いについてわかりにくい。県の広報誌が新聞のチラシ「ひばり」が配られますが、市の広報と一緒に良いと思います。
70代以上	男性	県西地域	県と町のコミュニケーションが不足しているのではないかと町の担当者の認識不足、県のフォロー不足。せっかく良い制度・方針があっても実行しなければ、何も進展しないと思う。
70代以上	男性	県西地域	県民誰もが豊かな生活ができるよう、結婚中心、競争主義社会の是正を図る。若い人を育て、活力ある場を作ってほしい。みんなが参加できるよう(各分野)な社会づくり。
70代以上	男性	県西地域	地上TVデジタル化に県は何の方策もないのか。
70代以上		県西地域	古河市の場合、県庁水戸は遠いので、パソコンを活用して可能な限り市役所窓口で済むようにしてほしい。